

別表1. 鉄道・観光学科鉄道科

必修・選択の別	授業科目	年間授業時数		授業時数 合計	単位数		
		第1学年	第2学年		第1学年	第2学年	合計
必修	ホスピタリティ入学研修	12	0	12	-	-	-
必修	入学オリエンテーション	12	0	12	-	-	-
必修	就職セミナー	8	0	8	-	-	-
必修	ショートホームルーム	60	60	120	-	-	-
必修	始業HR	0	4	4	-	-	-
必修	卒業式前HR	0	4	4	-	-	-
	小計	92	68	160	-	-	-
必修	業界英会話	60		60	4		4
必修	ホスピタリティ・SDGs研究	30		30	2		2
必修	キャリアガイダンス or 留学対策	60		60	4		4
必修	ビジネスプレゼンテーション	60		60	4		4
必修	業界就職試験対策	60		60	4		4
必修	運賃料金	30		30	2		2
必修	駅係員実習	30		30	2		2
必修	鉄道概論	30		30	2		2
必修	鉄道接遇	30		30	2		2
必修	文字表現	30		30	2		2
必修	路線地理	30		30	2		2
必修	コミュニケーショントレーニング	30	30	60	2	2	4
必修	IT&ビジネスリテラシー	30	30	60	2	2	4
必修	パッセージャーオペレーション	30		30	2		2
必修	運転法規	30		30	2		2
必修	車掌実務	30		30	2		2
必修	文書表現	30		30	2		2
必修	面接演習	30	30	60	2	2	4
必修	鉄道企業 I	30	30	60	2	2	4
必修	鉄道企業 II	30	30	60	2	2	4
必修	ジョブトレ(実習)	120	120	240	4	4	8
必修	観光列車		30	30		2	2
必修	国際儀礼		30	30		2	2
必修	指令実務		30	30		2	2
必修	アナウンストレーニング		30	30		2	2
必修	フィジカルトレーニング		60	60		4	4
必修	ビジネスマナー		30	30		2	2
必修	事業計画		30	30		2	2
必修	運転士実務 or TOEIC Training I		30	30		2	2
必修	営業規則 or 危険物取扱管理		30	30		2	2
必修	クルーサービス or 卒業制作 I		30	30		2	2
必修	駅務輸送 or 卒業制作 II		30	30		2	2
必修	接客手話 or 電気工事士		30	30		2	2
必修	接客中国語 or 卒業制作 III		30	30		2	2
必修	運転訓練 or TOEIC Training II		30	30		2	2
必修	技術基礎 or アテンダントサービス		30	30		2	2
必修	鉄道電気 or マナープロトコル		30	30		2	2
必修	鉄道車両 or セルフスタイリング		30	30		2	2
必修	鉄道設備 or ビジネススキル&ライフプラン		30	30		2	2
	小計	840	840	1680	52	52	104
	合計	932	908	1840	52	52	104

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数		2		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			キャリアガイダンス			講師名	高田 雅美	
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. ビジスマナー・就活の基本を学ぶ 2. ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す(申込不要) 3. ホスピタリティを土台とし、マナーをわきまえた社会人の言動をとれるようになる  <b>【2級受験希望者は学生カウンターへ要申請】</b>					就職活動でも必要となる、ビジスマナーとコミュニケーション、仕事の進め方やビジネス文書、電話対応などを学びながら、同時に検定合格を目指す。  授業では、テキストと問題集を併用し、知識の習得や過去、模擬問題に取り組み、家庭学習も必要となる。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	第1編、1、2章 キャリア、働く意識、8つの意識				<input type="checkbox"/> キャリアを知り、働く意義を考える <input type="checkbox"/> 仕事の基本となる8つの意識を身につける	講義		
2	第1編、3、4章 コミュニケーション、ほうれんそう		筆記	5	<input type="checkbox"/> コミュニケーションとビジスマナーの基本について理解する <input type="checkbox"/> 「ほうれんそう」の重要性を再認識する	講義		
3	第1編 5章 話し方、聞き方 敬語		筆記	5	<input type="checkbox"/> 敬語、話し方と聞き方のポイントを理解し、「学生ことば」を卒業する	講義		
4	第1編 6,7章 来客対応、訪問、対外交際		筆記	5	<input type="checkbox"/> 来客対応と訪問の基本マナーを身につける <input type="checkbox"/> 会社関係でのつき合いを知る	講義		
5	中間テスト 第2編 1章 仕事への取り組み方		筆記	30	<input type="checkbox"/> 仕事への取り組み方について理解する	講義		
6	第2編 2章 ビジネス文書・メール 配布資料 添え状とは		筆記	5	<input type="checkbox"/> ビジネス文書の基本を身につける <input type="checkbox"/> 添え状が書けるようになる	講義		
7	第2編 3章 電話対応 配布資料 就活に於ける電話対応		筆記	5	<input type="checkbox"/> 基本的な電話対応ができるようになる <input type="checkbox"/> ケーススタディで電話対応を身につける	講義		
8	第2編 4、5章 データの読み方、情報収集		筆記	5	<input type="checkbox"/> メディアを活用した情報収集ができる	講義		
9	第2編 6章 経済史、社会の環境		筆記	5	<input type="checkbox"/> 取り巻く環境と経済の基本について理解する	講義		
10	期末テスト・検定直前対策		筆記	30	<input type="checkbox"/> ジョブパスの特徴を捉え、出題形式に慣れる	講義		
11	業界が求める人物像 自己理解「ジョハリの窓」		課題	5	<input type="checkbox"/> 業界が求める人物像を具体化する <input type="checkbox"/> 「ジョハリの窓」から自己理解の気づきを得る	講義		
12	未来計画書作成				<input type="checkbox"/> 成し遂げたい項目3点を掲げる <input type="checkbox"/> 達成のためのアクションプランを完成させる	講義		
13	後期に向けて振り返り				就職活動に向けてのプランを考える	講義		
14	ディスカッション				授業で行ったことを討論する	講義		
15	まとめ				復習	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
<b>【評価方法】</b> 筆記 小テスト 5点×7回 筆記 中間テスト 30点 筆記 期末テスト 30点 課題 5点  <b>【追試】</b> 筆記 授業内にて実施（実施日は担当講師に確認） 課題 母数減らしにて対応					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		B検ジョブパス ビジネス能力検定3級  ・公式テキスト ・公式問題集 ・配布資料	

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			コミュニケーション トレーニング			講師名	さかな	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
シアタートレーニングや演劇を学ぶことで「表現力」を手に入れ、自分の言葉や表現を発信できるようにする。また発表会を行うことで、人に見られること、大きな声を出すこと、他者をコミュニケーションをとり協調性を養う。					シアタートレーニングや演劇作品づくりを中心に進める。学期末に発表会をおこなう。スーツやスカート、ヒールなど動きが制限される服装での出席は認められません。必ず動きやすい服装で参加すること。			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	自己紹介・授業内容理解			なぜ鉄道サービスに必要な授業なのかを理解する	実技			
2	シアタートレーニング①	実技	5	トレーニングを通じて自己を知る	実技			
3	シアタートレーニング②	実技	5	トレーニングを通じてクラスメイトを知る	実技			
4	シアタートレーニング③	実技	5	コミュニケーションを楽しむ	実技			
5	台本を読む	実技	5	発表会と台本の内容を理解する	実技			
6	発表会に向けての練習①	実技	5	自己の役割を考え発表会に向けての練習を行う	実技			
7	発表会に向けての練習②	実技	5	自己の役割を考え発表会に向けての練習を行う	実技			
8	発表会に向けての練習③	実技	5	自己の役割を考え発表会に向けての練習を行う	実技			
9	発表会に向けての練習④	実技	5	台詞や動きを覚えて演じる	実技			
10	発表会に向けての練習⑤	実技	20	よりよくするにはどうすればいいかを考え、実行する	実技			
11	最終リハーサル	実技	20	本番通りに行う	実技			
12	発表会本番	実技	20	発表会本番	実技			
13	本番振り返り			本番の反省会	実技			
14	後期に向けて			後期に向けて目標を立てる	実技			
15	まとめ			復習	実技			
追試詳細					達成度評価	使用教材		
<p>公欠等で休んだ場合は、実技については後日授業内で追試を行います。          課題については、別プログラムのレポートを提出してもらいます。          決められた申請を必ず行ってください。</p> <p>※フィールドワークの日程は変更になることがあります。</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス コース		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		IT&ビジネスリテラシー				講師名	小路 桃子	
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1年生後期の学習を踏まえ、「Word」「Excel」ともに、各機能を理解しながら、社会人になってからもよく使用する 機能を中心に学習し活用できるようになる。					授業形態：講義 ・達成目標を目指して、Word・Excelの機能的な学習します。 Word：ビジネス文書作成・文書の編集・グリーンディングカードの作成 など Excel：管理表の作成など ・Word/Excel以外に個人情報や著作権などの情報倫理を学習します。 ・授業のはじめにメール作成演習をします。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	ガイダンス/【W】Eメールの送り方 情報倫理について				今後の授業を説明。【W】Eメールの送り方。情報倫理について学ぶ	講義		
2	【W】Eメール演習 ビジネス文書について		メール① 筆記	10	Eメール演習とビジネス文書に必要な知識を学習する	講義		
3	【W】Eメール演習 課題作成		メール② 課題①	15	図形やワードアートを使って グリーンディングカードを作成する	講義		
4	【W】Eメール演習・ビズ 初文書復習 文書の編集・課題案内		メール③	5	Eメール演習とビジネス文書の復習 段組み・タブなどの使い方を学習する。	講義		
5	【W】Eメール演習・課題作成		メール④ 課題②	20	段組み・タブなどを使った課題作成	講義		
6	【W】Eメール演習 【E】関数・表作成		メール⑤	5	簡単な関数・表の作成を学習する	講義		
7	【E】見積書フォームの作成				見積り作成に必要な機能と関数を 学習し、見積書を完成させる (入力規則・応用関数)	講義		
8	【W】Eメール演習 【E】復習・グラフ・シート操作		メール⑥	5	グラフの特性を知り作成する。 Excelシート操作を習得する	講義		
9	【E】Excel総復習・授業内試験		実技	20	Excel総復習・授業内試験	講義		
10	これまでの復習				これまでのWordとExcelの復習	講義		
11	【E】スケジュール表作成・印刷 設定 表作成の活用・課題作成				日紙から管理表を作成する。印刷設定を 学習する。ユーザー定義・条件付き	講義		
12	【E】課題作成				今まで学習した内容を使ってポスター を作成。	講義		
13	【E】課題作成				今まで学習した内容を使ってポスター を作成。	講義		
14	【E】課題作成		課題③	20	今まで学習した内容を使ってポスター を作成。	講義		
15	振り返りとまとめ							
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		オリジナルプリント	

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			60	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ジョブトレ			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
職業現場に赴き、現場の雰囲気を知るとともに、作業について学ぶ					職業現場で、現場の作業員の方について作業方法を学ぶ			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション					オリエンテーション		講義
2	現場へのあいさつ・現場オリエンテーション							実技
3	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
4	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
5	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
6	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
7	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
8	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
9	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
10	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
11	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
12	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
13	現場実地訓練			実技	10	現場を理解する		実技
14	現場実地訓練			実技	10	現場を理解する		実技
15	まとめ					まとめ		実技
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			2	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ビジネスプレゼンテーション			講師名	小路 桃子	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>社会人として働く時、自分の考えを決裁者に対して理解しやすく納得できるように提案するための段取りや組み立て方を理解し、言語情報・音声情報・視覚情報として伝えることや簡潔明瞭に伝えるスキルを養う。学生自身が好きなこと・得意なことを見つけて、全員がリーダーとなり夢や目標を達成させ、成功体験を語ることができるようになる。</p>					<p>講義をした後、ワークショップ（参加者個々が考え、お互い協力し合い、与えられたテーマを元に行う体験型授業）や実技（発表）を繰り返すことで、基礎のプレゼンテーション知識の体得を目指す。</p>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式	
			形式	点数				
1	オリエンテーション（BTSとは）チームビルディング（アイスブレイク）		課題	10	一年間の流れ、BTSの説明、ワークショップを実施しクラスの雰囲気高める		講義	
2	自己紹介		実技	20	自己紹介をしながらワークショップを行いコミュニケーションの取りやすい環境を作る		実技	
3	チームビルディング（組織強化的、コンセンサス合意）				議論のまとめ方を学び、組織強化、コンセンサス合意を目的としたチームビルディングを行う		講義	
4	プレゼンテーションの基本構造、企画の基本構造		課題	10	プレゼンの基本であるPREP構造、企画の基本構造をヒット商品に学ぶ		講義	
5	アイデアの発想法				アイデアを発想する方法（フレーム）をいくつか紹介し、発想のトレーニングを行う		講義	
6	プレゼンテーションテクニック①（課題の見つけ方）				テーマを示し、情報収集→課題発見→課題解決のワークショップを行う		講義	
7	プレゼンテーションテクニック②（アイデア→企画書）		課題	10	課題解決のためのフレームワークを使って企画書の作成を行う		講義	
8	プレゼンテーションテクニック③（発表、フィードバック）		実技	20	発表とフィードバック		実技	
9	BTS概要説明				BTS全体テーマ発表→「業界を“オシャレ”に」（業界の課題解決の提案）		講義	
10	マーケティング基礎				情報収集の仕方、環境分析、ターゲットニング、AIDMAを実例を交えてマーケティングの基礎を学ぶ		講義	
11	BTS企画構想（個人）		実技	20	BTSの提案を個人で考え提案内容を作成する		講義	
12	BTS企画ワークショップ				個人提案内容について共有し、カテゴリー別にチーム編成する		講義	
13	BTS企画構想（チーム）		課題	10	BTSのチームテーマ決定する ※夏休み期間に何をするか、役割分担		講義	
14	BTS企画構想（チーム）				BTSのチームテーマ決定する ※夏休み期間に何をするか、役割分担		講義	
15	まとめ				復習		講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			運賃料金			講師名	里口	
担当講師の 実務経歴			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
JRその他の運賃料金分野を学び、基礎知識を身につける					<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元毎に主な計算ルール等を理解し、演習問題を確実に解けるようにする</li> <li>・授業内で小テストを実施し、60%以上を取得する</li> </ul>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	JRの基礎知識、旅客営業規則 JR運賃計算の基本ルール				6社・年齢区分・端数整理・有効期間、幹線と地方交通線についてなど基本ルールを理解する	講義		
2	JR運賃計算①基本				本州と他にまたがる運賃計算及び通過連絡運輸を理解し、練習問題を解ける	講義		
3	JR運賃計算②応用		筆記①	15	連続運賃、特例都区市内等の特例を理解する	講義		
4	JR運賃計算③割引				個人と団体（個札と団券）の割引運賃の計算ができる	講義		
5	JR運賃演習				運賃計算のルールを活用して練習問題が解ける	講義		
6	JR料金の基礎知識		筆記②	30	JR料金の種類と特徴、運賃との違い等を理解する	講義		
7	JR料金計算①基本				料金計算のルールを理解し、新幹線の料金計算ができる	講義		
8	JR料金計算②応用				新幹線内乗継及び特急料金、グリーン料金、寝台料金を理解する	講義		
9	JR料金計算③乗継割引		筆記③	30	乗継割引適用の可否を区別することができる	講義		
10	JR料金演習				料金の例外・通し計算、山形・秋田新幹線、発売日、払い戻しを理解する	講義		
11	JRまとめ		筆記④	20	JRに関する国家試験レベルの問題が解けるようになる	講義		
12	貸切バス、フェリー		筆記⑤	10	貸切りバスとフェリーの計算ルールを理解して、練習問題が解ける	講義		
13	宿泊、国内航空運賃				宿泊料金と国内航空運賃のルールを理解する	講義		
14	バス復習				バスについて復習する	講義		
15	まとめ				復習	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>公欠等で休んだ場合は、実技については後日授業内で追試を行います。 課題については、別プログラムのレポートを提出してもらいます。 決められた申請を必ず行ってください。</p> <p>※フィールドワークの日程は変更になることがあります。</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		ホスピタリティ・SDGs研究				講師名	里口 邦夫	
担当講師の実務経歴		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
相手の立場に立って考え行動するホスピタリティマインドを理解し、行動に移せるようになることを目標とする。個人間のホスピタリティを理解したあとで、企業が行うホスピタリティの行動としてSDGsの事例を学び、地球規模でホスピタリティの具現化について考察を深める。					「ホスピタリティマインド」「SDGs」という2つのテーマについて、講師がファシリテーターとなり、学生自らが気づきを得るためのワークショップ形式の授業を展開する。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション ホスピタリティマインドとは何かを考える				<input type="checkbox"/> 響存関係づくりからホスピタリティを理解した	講義		
2	「これってホスピタリティ？」 事例から考えるホスピタリティ				<input type="checkbox"/> 事例から様々な考え方や行動があることに気付いた	講義		
3	私のホスピタリティ体験				<input type="checkbox"/> 実体験から、自分のホスピタリティや他者から受けたホスピタリティに気付いた	講義		
4	ホスピタリティに必要な力 ①感知力・想像力、SDGsの基礎を学ぶ		課題	30	<input type="checkbox"/> 業界事例から感知力・想像力を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
5	ホスピタリティに必要な力 ②マインド、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例から感知力・想像力を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
6	1週間のホスピタリティ共有		課題	20	<input type="checkbox"/> 各自の発表から気づきを得た <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
7	ホスピタリティに必要な力 ③マナー、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例からマナーの必要性を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
8	ホスピタリティに必要な力 ③マナー、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例からマナーの必要性を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
9	ホスピタリティに必要な力 ④コミュニケーション、SDGsの基礎を学ぶ		課題	20	<input type="checkbox"/> 業界事例からコミュニケーションカを理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
10	ホスピタリティに必要な力 ④コミュニケーション、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例からコミュニケーションカを理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
11	「私のホスピタリティ」(クレド)作成				<input type="checkbox"/> 自身の今後の行動目標を作成し、ホスピタリティ意識を高めた	講義		
12	「自身の考えるホスピタリティについて」		課題	30	<input type="checkbox"/> これまでの学びや気づきをもとにホスピタリティについて考えることが出来た	講義		
13	総復習 フィードバック				<input type="checkbox"/> ホスピタリティについて考える機会が増えた	講義		
14	みんなに手紙を書こう				手紙で気持ちを伝える	講義		
15	まとめ				復習	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
<b>【評価方法】</b> 筆記 小テスト 5点×7回 筆記 中間テスト 30点 筆記 期末テスト 30点 課題 5点  <b>【追試】</b> 筆記 授業内にて実施（実施日は担当講師に確認） 課題 母数減らしにて対応					A 80点以上  B 70点以上  C 60点以上  D 59点以下		B検ジョブパス ビジネス能力検定3級  ・公式テキスト ・公式問題集 ・配布資料	

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			駅係員実務			講師名	里口	
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の仕事内容を知ることにより、安全輸送の重要性について理解する</li> <li>・鉄道業界で求められるサービスについて知識を得る</li> </ul> ※スケジュールは変更となる場合があります					駅係員の基本動作を実施します。  テストを行い、鉄道における基本動作の重要性を学びます。			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション					オリエンテーション		
2	鉄道の仕事について					□鉄道の仕事を理解する		実技
3	駅の仕事の流れ			筆記	20	□仕事の流れを理解する		実技
4	改札業務①					□改札業務を理解する		実技
5	改札業務②			実技	20	□改札業務を理解する		実技
6	出札業務①					□出札業務を理解する		実技
7	出札業務②					□出札業務を理解する		実技
8	出札業務③			実技	20	□出札業務を理解する		実技
9	大阪モノレールについて					□大阪モノレールについて理解する		実技
10	フィールドワーク					フィールドワーク		実技
11	立哨業務①					□立哨業務について理解する		実技
12	立哨業務②			実技	20	□立哨業務について理解する		実技
13	立哨業務②					□立哨業務について理解する		実技
14	総まとめtest			筆記	20	総まとめテスト答え合わせ		講義
15	まとめ					復習		講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
公欠等で休んだ場合は、実技については後日授業内で追試を行います。 課題については、別プログラムのレポートを提出してもらいます。 決められた申請を必ず行ってください。  ※フィールドワークの日程は変更になることがあります。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			業界英会話			講師名	茶谷友希	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道業界で使用する英単語・英語フレーズを習得するとともに、接客時に使われる基本的な英語表現を身に付ける。</li> <li>・みんなの外国語検定合格を目指す。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト（キクタン接客英会話）を使用し、英単語やフレーズを習得するとともに、接客に必要な基本表現を学ぶ。</li> <li>・毎回みんなの外国語検定（交通偏）受験対策を実施。</li> <li>・小テストにて定着度を確認する。</li> </ul>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション 駅の施設・設備				・オリエンテーション ・駅の施設・設備に関する単語を学ぶ	講義		
2	電車での接客(chaper1～2) みんなの外国語検定を学ぶ				・キクタンchapter1～2の単語・フレーズを学ぶ。 ・切符の買い方を説明できるようになる。	講義		
3	電車での接客(chaper3～4) みんなの外国語検定対策		小テスト	15	・キクタンchapter3～4の単語・フレーズを学ぶ。 ・電車の乗り換えを説明できるようになる。	講義		
4	電車での接客(chaper5～6) みんなの外国語検定対策				・キクタンchapter5～6の単語・フレーズを学ぶ。 ・ICカードの買い方を説明できるようになる。	講義		
5	電車での接客(chaper7～8) みんなの外国語検定対策		小テスト	15	・キクタンchapter7～8の単語・フレーズを学ぶ。 ・遅延時の案内や忘れ物対応ができるようになる。	講義		
6	Chapter1～8の振り返り みんなの外国語検定対策				・キクタンchapter1～8の単語・フレーズを復習する。 ・車内の位置をスムーズに表現できるようになる。	講義		
7	タクシーでの接客① みんなの外国語検定対策		小テスト	15	・タクシーに乗る際に必要な単語・フレーズを学ぶ。 ・タクシーの乗り方について案内できるようになる。	講義		
8	タクシーでの接客② みんなの外国語検定対策				・地図や観光スポットに関する単語・フレーズを学ぶ。 ・地図での案内や観光スポットを紹介できるようになる。	講義		
9	バスでの接客① みんなの外国語検定対策		小テスト	15	・バスに乗る際に必要な単語・フレーズを学ぶ。 ・バスの乗り方について案内できるようになる。	講義		
10	バスでの接客② みんなの外国語検定対策				・バスに乗る際に必要な単語・フレーズを学ぶ。 ・交通状況について案内できるようになる。	講義		
11	筆記試験対策		小テスト	15	・これまでの復習 ・筆記試験対策	講義		
12	筆記試験 その他フレーズ		筆記	25	・筆記試験実施 ・イレギュラー対応ができるようになる。	講義		
13	筆記試験振り返り まとめ				・筆記試験振り返り ・まとめ	講義		
14	英語で会話しよう				英語のみで授業をする	講義		
15	まとめ				復習	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
<b>●WEEK3・5・7・9・11</b> 小テスト各15点：翌週の授業前後に実施  <b>●WEE12</b> 筆記25点：翌週の授業前後に実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		キクタン接客英会話 『交通偏』  配布資料	

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数		2		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		業界就職試験対策				講師名	森本 哲夫	
担当講師の実務経歴		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
★業界就職試験に必要な数学、国語・社会の知識及び能力を得る。 1 数学の基礎計算能力の習得 2 数学の簡単な文章問題が解ける 3 国語の基礎知識を習得する 4 社会の基礎知識を習得する					・ 問題解説 および 演習			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式	
			形式	点数				
1	プレテスト ガイダンス／二語の関係				二語の関係を理解する		講義	
2	整数・小数の乗法・除法／分数の計算				小数・分数の計算ができる		講義	
3	四則計算／小数分数の変換／方程式		課題	6	四則計算、小数・分数の変換、方程式の計算ができる（課題締切5/4）		講義	
4	百分率・歩合の計算／割合の基礎テスト		課・筆	6+11	割合の計算ができる（課題締切5/18） 数・国・社 小テスト		講義	
5	割合の計算／復習		課題	6	割合の計算ができる（課題締切5/25）		講義	
6	金銭計算／テスト		課・筆	6+15	金銭計算ができる（課題締切6/1） 数学 中間テスト		講義	
7	時間・速さ／速さの単位		課題	6	時間の計算、速さの単位変換ができる（課題締切6/8）		講義	
8	速度算		課題	6	速さの計算ができる（課題締切6/15）		講義	
9	集合／テスト		課・筆	6+11	集合の計算ができる（課題締切6/22） 数・国・社 小テスト		講義	
10	総復習		課題	6	（課題締切7/6）		講義	
11	総復習／テスト		筆記	15	今までの内容が理解できている 数学 期末テスト		講義	
12	テスト答え合わせ				テスト答え合わせ		講義	
13	割合の計算／復習		課題	10	割合の計算の復習		講義	
14	金銭計算／復習				金銭の計算の復習		講義	
15	まとめ				復習		講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
【評価方法】 筆記 小テスト 5点×7回 筆記 中間テスト 30点 筆記 期末テスト 30点 課題 5点  【追試】 筆記 授業内にて実施（実施日は担当講師に確認） 課題 母数減らしにて対応					A 80点以上  B 70点以上  C 60点以上  D 59点以下		B検ジョブパス ビジネス能力検定3級  ・公式テキスト ・公式問題集 ・配布資料	

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス			
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			鉄道概論			講師名	里口		
担当講師の実務経歴		○	実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場の仕事内容を知ることにより、安全輸送の重要性について理解する</li> <li>・鉄道業界で求められるサービスについて知識を得る</li> </ul> ※スケジュールは変更となることがあります					駅係員、車掌の基本動作を実施します。  テストを行い、鉄道における基本動作の重要性を学びます。				
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標		授業形式			
		形式	点数						
1	オリエンテーション				オリエンテーション			講義	
2	鉄道とは				□鉄道について理解する			講義	
3	鉄道とは				□鉄道について理解する			講義	
4	鉄道会社の種類	課題	20		□鉄道会社の種類を知る			講義	
5	鉄道会社の種類	課題	20		□鉄道会社の種類を知る			講義	
6	鉄道会社の種類				□鉄道会社の種類を知る			講義	
7	鉄道の分類	課題	20		□鉄道の分類を理解する			講義	
8	鉄道の分類				□鉄道の分類を理解する			講義	
9	鉄道の分類				□鉄道の分類を理解する			講義	
10	鉄道の分類	課題	20		□鉄道の分類を理解する			講義	
11	鉄道の基礎				□鉄道の基礎を理解する			講義	
12	鉄道の基礎	課題	20		□鉄道の基礎を理解する			講義	
13	鉄道の基礎				□鉄道の基礎を理解する			講義	
14	鉄道の基礎				□鉄道の基礎を理解する			講義	
15	まとめ				復習			講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材		
公欠等で休んだ場合は、実技については後日授業内で追試を行います。 課題については、別プログラムのレポートを提出してもらいます。 決められた申請を必ず行ってください。  ※フィールドワークの日程は変更になることがあります。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			鉄道接遇			講師名	(株) JR西日本交通サービス	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
講師の実務景観から接客の仕事を選び就職活動に生かしていく。また、営業制度の基本部分を学ぶことにより、就職後すぐに実践できるようにする。					授業形態：講義・実技			
					接客の基本動作と鉄道業における基本知識を講義・練習を中心に学習していく。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション 第一印象の重要性・身だしなみ 挨拶・お辞儀・立ち姿勢				駅係員としての基本的な姿勢等を学ぶ	実技		
2	ミニテスト（第一印象～立ち姿勢） 表情・言葉づかい		筆記	15	改札口で行う接客対応を学ぶ	講義		
3	表情・言葉づかい				接客時の表情・言葉づかいがもたらす印象を学ぶ	講義		
4	ミニテスト（表情～言葉遣い） 駅での放送		筆記	15	お客様に伝わる放送を学ぶ	実技		
5	方向案内・乗越精算				駅係員のロールプレイを行う	実技		
6	ミニテスト（放送～方向案内） 遺失物の取り扱い		筆記	15	JRの接客基本動作を学ぶ	講義		
7	駅員の仕事				講師紹介・駅員のいろいろな仕事を学ぶ	講義		
8	時刻表の見方①				不特定多数のお客様との契約方法を学ぶ	講義		
9	ミニテスト・時刻表の見方②		筆記	15	駅員として最低限必要な時刻表の見方を学ぶ	講義		
10	ミニテスト・時刻表の見方③				駅員として最低限必要な時刻表の見方を学ぶ	実技		
11	ミニテスト・鉄道地理		筆記	15	全国の観光地・分岐名などを学ぶ	講義		
12	ミニテスト・時刻案内①		筆記	15	時刻表を用いてお客様に案内する練習を行う	実技		
13	ミニテスト・時刻案内②		筆記	10	時刻表を用いてお客様に案内する練習を行う	実技		
14	ミニテスト・時刻案内③				時刻表を用いてお客様に案内する練習を行う	実技		
15	まとめ				復習	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			文字表現			講師名	岩村洋子	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
「鉄道業界」への就職に向けて、文章力を養成する ①文字を美しく書く技術を身につける ②自分の魅力と意欲を伝える技術を身につける ③語彙力を向上させて複数の選択肢の中から言葉を選んで使えるようになる					講義・実技			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標		授業形式
1	「社会人」として活躍するために					大人のコミュニケーション能力を理解する		講義
2	書類の記入					筆跡やレイアウトから想像される人物像を理解する		実技
3	自己分析/正しいひらがなの形					自分の魅力を発信する「軸」を見つける		実技
4	文章から受ける人物像/カタカナ					「伝える」と「伝わる」の違いを理解する		講義
5	文章における言葉遣い/アルファベット			筆記	14	文章作成の基礎の基礎を学ぶ		実技
6	具体的に書く/漢字①			筆記	14	読み手がイメージできるように書く		実技
7	ポジティブな表現/漢字②			筆記	14	言葉による印象の違いを理解する		実技
8	自己PR①/地名都市名			筆記	14	自分の魅力を伝える		実技
9	読み手の視線でチェックする/季節の挨拶			筆記	14	ブラッシュアップして完成度を上げる		実技
10	自己PR2/ビジネス用語					文章から伝わるあなた＝等身大のあなた		実技
11	個性や魅力を引き立たせる表現					誤解や他に埋もれることを避ける方法を学ぶ		実技
12	テスト・復習			筆記	30	今までの学びを活かして文章を作成する		実技
13	志望動機①					志望動機を考える		講義
14	志望動機②					志望動機を考える		講義
15	まとめ					復習		講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試の手続きを終えた後、担当講師に追試日を確認する。授業内で実施。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		硬筆書写技能検定3級ドリル その他は随時ロイロノートで配布	

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		路線地理				講師名	山田真史	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
・YouTubeやGoogle Earth等を活用し、旅行の楽しさを感じながら興味深く学習する。					・国内の主要な観光資源（観光地名、温泉、国立公園、郷土料理、祭り、特産品、旧国名、JR線名、知っておきたい名数など）を確実に覚えていく。 ・地理サブノートを自主学習で完成させる。 ・各地のインプット終了後、確認テストを実施する。			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	国内旅行地理の基礎知識のチェック 北海道の観光資源一部			授業目的の理解。都道府県名を覚える 北海道の主要な観光資源を覚える	講義			
2	北海道の観光資源、東北の観光資源一部			北海道、青森、岩手の主要な観光資源を覚える	講義			
3	東北の観光資源と関東の観光資源一部	筆記	10	宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木の主要な観光資源	講義			
4	関東の観光資源	筆記	10	群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川	講義			
5	関東の残り伊豆・中部の観光資源			山梨、静岡<伊豆含む>、新潟、長野	講義			
6	中部の残り北陸・三重の観光資源	筆記	10	愛知、岐阜、富山、石川、福井、三重	講義			
7	近畿2府4県の観光資源	筆記	10	滋賀、京都、奈良、和歌山、大阪、兵庫	講義			
8	中国5県の観光資源			鳥取、島根、岡山、広島、山口	講義			
9	四国4県と九州の観光資源	筆記	10	四国4県と福岡、佐賀、長崎	講義			
10	九州の観光資源			福岡、佐賀	講義			
11	九州と沖縄の観光資源	筆記	10	熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	講義			
12	総復習①	筆記	10	国立公園、郷土料理、特産品を中心に復習	講義			
13	総まとめテスト&地理ノート完成度チェック	筆記	30・10	総まとめテスト。 自主学習で作成した地理ノートの完成	講義			
14	夏休みの目標設定			目標を設定する	講義			
15	まとめ			復習	講義			
追試詳細				達成度評価		使用教材		
公欠の場合、原則翌週に追試を実施。				110点満点とする A 79点以上(72%) B 66点以上(60%) C 52点以上(48%) D 51点以下(47%)		テキスト		

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			IT&ビジネスリテラシー			講師名	小路 桃子	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
ビジネスの現場では必須のワード、エクセル、パワーポイントの知識を習得する。 鉄道の現場では特に助役以上の管理職で必要となってくる					パソコンを用いながら、ワード、エクセル、パワーポイントの知識を取得する			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション			課題	10	オリエンテーション		実技
2	ワード			実技	20	ワードを理解する		実技
3	ワード					ワードを理解する		実技
4	ワード			課題	10	ワードを理解する		実技
5	ワード					ワードを理解する		実技
6	エクセル					エクセルを理解する		実技
7	エクセル			課題	10	エクセルを理解する		実技
8	エクセル			実技	20	エクセルを理解する		実技
9	エクセル					エクセルを理解する		実技
10	パワーポイント					パワーポイントを理解する		実技
11	パワーポイント			実技	20	パワーポイントを理解する		実技
12	パワーポイント					パワーポイントを理解する		実技
13	パワーポイント			課題	10	パワーポイントを理解する		実技
14	発表					発表を行う		実技
15	まとめ					復習		実技
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			キャリアガイダンス			講師名	高田 雅美	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
就職活動に向けての準備 面接、グループディスカッション、等の準備を行う					グループ面接・グループディスカッションについての知識を習得し、実際に体験する			
実施 回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション		課題	10	オリエンテーション	実技		
2	グループ面接		実技	20	グループ面接を体験し、面接方法を習得する	実技		
3	グループ面接				グループ面接を体験し、面接方法を習得する	実技		
4	グループ面接		課題	10	グループ面接を体験し、面接方法を習得する	実技		
5	グループ面接				グループ面接を体験し、面接方法を習得する	実技		
6	グループディスカッション				グループディスカッションを体験し、方法を習得する	実技		
7	グループディスカッション		課題	10	グループディスカッションを体験し、方法を習得する	実技		
8	グループディスカッション		実技	20	グループディスカッションを体験し、方法を習得する	実技		
9	個人面接				個人面接を体験し、面接方法を習得する	実技		
10	個人面接				個人面接を体験し、面接方法を習得する	実技		
11	個人面接		実技	20	個人面接を体験し、面接方法を習得する	実技		
12	グループワーク				グループワークを体験し、方法を習得する	実技		
13	グループワーク		課題	10	グループワークを体験し、方法を習得する	実技		
14	グループワーク				グループワークを体験し、方法を習得する	実技		
15	まとめ				復習	実技		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			60	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ジョブトレ			講師名		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
職業現場に赴き、現場の雰囲気を知るとともに、作業について学ぶ					職業現場で、現場の作業員の方について作業方法を学ぶ			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション					オリエンテーション		講義
2	現場へのあいさつ・現場オリエンテーション							実技
3	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
4	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
5	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
6	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
7	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
8	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
9	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
10	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
11	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
12	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する		実技
13	現場実地訓練			実技	10	現場を理解する		実技
14	現場実地訓練			実技	10	現場を理解する		実技
15	まとめ					まとめ		実技
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			パッセンジャーオペレーション			講師名	里口 邦夫	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>駅員、乗務員の役割を学び、就職活動に活かしていく。</p> <p>駅または列車内で実際に使う業務を学び、就職後すぐに実践できるようにする</p>					<p>授業形態：講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改札、出札、車掌・運転士業務からサービス・安全の重要性を学ぶ。</li> <li>・実技の回数を多くすることで見られるフレッシュャーに強くなる</li> </ul>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション				授業計画書配布・授業の進め方の確認	講義		
2	駅員・車掌の1日				駅員と車掌の仕事を知る	実技		
3	駅員・車掌の1日				駅員と車掌の仕事を知る	実技		
4	駅員・車掌の1日		課題	20	駅員と車掌の仕事を知る	実技		
5	運転士の1日				運転士の仕事を知る	実技		
6	運転士の1日		課題	20	運転士の仕事を知る	実技		
7	ダイヤグラム				鉄道従事員必須のダイヤグラムを習得する	実技		
8	ダイヤグラム		筆記	20	鉄道従事員必須のダイヤグラムを習得する	実技		
9	ダイヤグラム				鉄道従事員必須のダイヤグラムを習得する	実技		
10	ダイヤグラム		筆記	20	鉄道従事員必須のダイヤグラムを習得する	実技		
11	動力車操縦者養成トラジャル校開講日				運転士としての心構えを学ぶ	実技		
12	技能講習				運転方を習得する	実技		
13	技能講習				運転方を習得する	実技		
14	技能講習		実技	20	運転方を習得する	実技		
15	まとめ				復習	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ビジネスプレゼンテーション			講師名		
担当講師の実務経験		○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
社会人として必要なプレゼンテーションスキルを習得する。 またチームビルディングの重要性を理解するとともに、主体的に行動できる人材となる					BTS（少人数オーダーメイド式学習法）を取り入れ、PDCAサイクルを使用しながらチームでプロジェクトの構想、発表を行う			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション 前期振り返り				前期の内容を振り返り、今後の授業の流れや目的を理解する	講義		
2	BTS企画構想（チーム）		課題	10	前期で決めたテーマを基に、より具体的な企画を構想する	講義		
3	プレゼンテーション技法（PREP構造） BTS企画制作		課題	5	PREP構造を理解し、論理的なプレゼンテーションスキルを習得する	講義		
4	プレゼンテーション技法（凶解の仕方） BTS企画制作		課題	5	効果的な凶解の使用法を学び、自身のプレゼンテーションに取り入れる	講義		
5	プレゼンテーション技法（ストーリーテリング-TAPS） BTS企画制作		課題	5	相手に伝えたい思いやコンセプトを、印象的なエピソードを交えて伝える手法を学ぶ	講義		
6	プレゼンテーション技法（身体感覚） BTS企画制作		課題	5	身体を使い、聴き手の五感に訴えられるスキルを習得する	講義		
7	プレゼンテーション技法（接客販売士） BTS企画制作		課題	5	接客販売士が駆使しているプレゼン手法を学び、自身のプレゼンテーション力を向上させる	講義		
8	BTS企画発表準備				校内発表に向けてチームで発表準備を行う	講義		
9	BTS企画発表準備				校内発表に向けてチームで発表準備を行う	講義		
10	BTS企画発表準備（リハーサル）		実技	10	校内発表に向けてリハーサル実施する	実技		
11	BTS校内発表会		課題 実技	10 20	校内発表	実技		
12	BTS校内発表フィードバック		課題	5	フィードバックを基に検証を行い、改善内容を検討する	講義		
13	PR動画準備（計画、絵コンテ作成）		課題	10	効果的なPR方法を考える内容に応じた絵コンテを作成	講義		
14	PR動画準備（撮影、編集）				前週に計画したPR動画の撮影、編集	講義		
15	PR動画発表、振り返り		実技	10	PR動画の発表、全体振り返り	実技		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			運転法規			講師名	里口	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道業界において必要になる法律について学んでいく</li> <li>・なぜ決まりがあるのかを考える</li> </ul>					講義メインで進める。 確認テストを実施する			
実施回数	学習項目			授業内テスト形式	点数	各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション					オリエンテーション		
2	運転安全規範綱領			筆記	20	□綱領の概要を理解する		講義
3	運転安全規範綱領					□綱領の概要を理解する		講義
4	列車火災			課題	20	□運転法規を基に対処法を理解する		講義
5	列車火災					□運転法規を基に対処法を理解する		講義
6	地震					□運転法規を基に対処法を理解する		講義
7	地震			課題	20	□運転法規を基に対処法を理解する		講義
8	気象異常時					□運転法規を基に対処法を理解する		講義
9	死傷事故					□運転法規を基に対処法を理解する		講義
10	保安装置故障			課題	20	□運転法規を基に対処法を理解する		講義
11	沿線火災					□運転法規を基に対処法を理解する		講義
12	車両故障			課題	20	□運転法規を基に対処法を理解する		講義
13	非常の措置					□非常の措置を理解する		講義
14	非常の措置					□非常の措置を理解する		講義
15	総まとめ					総まとめ		講義
追試詳細						達成度評価		使用教材
						A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			業界英会話			講師名	茶谷友希	
担当講師の実務経歴		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期に続いて鉄道業界で使用する英単語・英語フレーズを習得するとともに、接客時に使われる基本的な英語表現を身に付ける。</li> <li>・みんなの外国語検定合格を目指す。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト（キクタン接客英会話）を使用し、英単語やフレーズを習得するとともに、接客に必要な基本表現を学ぶ。</li> <li>・毎回みんなの外国語検定（交通偏）受験対策を実施。</li> <li>・小テストにて定着度を確認する。</li> </ul>			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション 車内設備			・オリエンテーション ・車内に関する単語を学ぶ	講義			
2	電車での接客(chaper9~10) みんなの外国語検定を学ぶ			・キクタンchapter9~10の単語・フレーズを学ぶ。 ・切符の買い方の説明（前期の振り返り）	講義			
3	電車での接客(chaper11~12) みんなの外国語検定対策	小テスト	15	・キクタンchapter11~12の単語・フレーズを学ぶ。 ・電車の乗り換えの説明（前期の振り返り）	講義			
4	電車での接客(chaper13~14) みんなの外国語検定対策			・キクタンchapter13~14の単語・フレーズを学ぶ。 ・ICカードの買い方の説明（前期の振り返り）	講義			
5	電車での接客(chaper15~16) みんなの外国語検定対策	小テスト	15	・キクタンchapter15~16の単語・フレーズを学ぶ。 ・遅延時の案内や忘れ物対応（前期の振り返り）	講義			
6	電車での接客(chaper17~18) みんなの外国語検定対策			・キクタンchapter17~18の単語・フレーズを学ぶ。 ・車内の位置をスムーズに表現（前期の振り返り）	講義			
7	電車での接客(chaper19~20) みんなの外国語検定対策	小テスト	15	・キクタンchapter19~20の単語・フレーズを学ぶ。	講義			
8	案内実践① みんなの外国語検定対策			前週までの内容を踏まえ、英語による案内を実践する	講義			
9	案内実践② みんなの外国語検定対策	小テスト	15	英語による案内の実践	講義			
10	案内実践③ みんなの外国語検定対策			英語による案内の実践	講義			
11	筆記試験対策	小テスト	15	・これまでの復習 ・筆記試験対策	講義			
12	筆記試験 その他フレーズ	筆記	25	・筆記試験実施 ・イレギュラー対応ができるようになる。	講義			
13	筆記試験振り返り まとめ			・筆記試験振り返り ・まとめ	講義			
14	振り返り			復習	講義			
15	総まとめ			総まとめ	講義			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
<b>●WEEK3・5・7・9・11</b> 小テスト各15点：翌週の授業前後に実施  <b>●WEE12</b> 筆記25点：翌週の授業前後に実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		キクタン接客英会話『交通偏』  配布資料	

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス コース		
時間数		30		単位数	2	区分	共通	必修
科目名		業界就職試験対策				講師名		
担当講師の 実務経歴		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>★業界就職試験に必要な数学、国語・社会の知識及び能力を得る。</p> <p>1 数学の文章問題が解ける</p> <p>2 国語の基礎知識を習得する</p> <p>3 社会の基礎知識を習得する</p>					問題の解説及び演習			
実施日 回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業 形式	
1	ガイダンス 前期復習				単元内容の理解・演習			
2	場合の数①				単元内容の理解・演習			
3	場合の数②		課題 (数学)	10	単元内容の理解・演習			
4	確率①		テスト (国・社)	10	単元内容の理解・演習			
5	確率②・速度算		課題 (数学)	10	単元内容の理解・演習			
6	時刻表・旅人算		テスト (国・社)	10	単元内容の理解・演習			
7	割合・金銭計算①		課題 (数学)	10	単元内容の理解・演習			
8	金銭計算②・濃度算				単元内容の理解・演習			
9	推論		テスト (国・社)	10	単元内容の理解・演習			
10	表の読み取り		課題 (数学)	10	単元内容の理解・演習			
11	総合練習①				単元内容の理解・演習			
12	総合練習②				単元内容の理解・演習			
13	総復習				これまで学んだ内容の総復習			
14	総復習		課題 (数学)	30	これまで学んだ内容の総復習			
15	まとめ				単元内容の理解・演習			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>(1) テスト(国・社) 10点×3回=30点</p> <p>(2) 課題(数学) 10点×4回=40点</p> <p>(3) 期末テスト(数学) 30点×1回=30点      合計100点</p> <p>※テスト(国・社) オンライン受講の際は受けることができません。 次回登校した際に追試を受けてください。</p> <p>※課題(数学) 解答があるので、必ず赤ペンで丸つけすること。 間違っていたところは直し、次は青ペンで丸つけすること。 間違い直しをせずに提出→減点3点 丸つけせずに提出→減点3点・遅れて提出→減点3点</p>					<p><b>A 80点以上</b></p> <p><b>B 70点以上</b></p> <p><b>C 60点以上</b></p> <p><b>D 59点以下</b></p>		就職筆記対策テキスト サブテキスト 計2冊	

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		車掌実務				講師名	里口	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車掌業務に必要な一連の業務を学ぶ</li> <li>・ 実技を行い、車掌業務を理解する</li> </ul>					実技メインで進める。 確認テストを実施する			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション				オリエンテーション		実技	
2	ドア開閉実習				□ドア開閉実習について理解する		実技	
3	ドア開閉実習				□ドア開閉実習について理解する		実技	
4	ドア開閉実習		実技	25	□ドア開閉実習について理解する		実技	
5	車内巡視実習				□車内巡視実習について理解する		実技	
6	車内巡視実習				□車内巡視実習について理解する		実技	
7	車内巡視実習		実技	25	□車内巡視実習について理解する		実技	
8	車内放送実習				□車内放送実習について理解する		実技	
9	車内放送実習				□車内放送実習について理解する		実技	
10	車内放送実習		実技	25	□車内放送実習について理解する		実技	
11	非常時の対応				□非常時の対応法について理解する		実技	
12	非常時の対応		実技	25	□非常時の対応法について理解する		実技	
13	車掌の日常				□車掌の日常を理解する		実技	
14	車掌の日常				□車掌の日常を理解する		実技	
15	総まとめ				総まとめ		実技	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		鉄道企業 I				講師名	里口	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各企業の特徴を知る。</li> <li>・鉄道業界で求められている人材像を考える</li> </ul> ※授業内容は変更になることがあります					①少人数のグループ分けをし、各々が責任を持って企業について調べる ②プレゼン発表することにより、人前で話すことに慣れるとともに、人に理解してもらえるように話す技術を身に付ける			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション				オリエンテーション			
2	授業紹介				授業内容の紹介を理解する	講義		
3	日本の鉄道会社を知る		課題	9	国内200社の鉄道会社について知る	講義		
4	関西鉄道会社について、グループに分かれて調べる		課題	9	タブレット端末を用いて、企業の長所・短所を調べる	講義		
5	関西関西鉄道会社について、グループ毎に発表する		課題	9	タブレット端末を用いて、自分が担当した企業の発表をする	講義		
6	関東鉄道会社について、グループに分かれて調べる		課題	9	タブレット端末を用いて、企業の長所・短所を調べる	講義		
7	関東関西鉄道会社について、グループ毎に発表する		課題	9	タブレット端末を用いて、自分が担当した企業の発表をする	講義		
8	関西・関東以外の鉄道会社について、グループに分かれて調べる		課題	9	タブレット端末を用いて、企業の長所・短所を調べる	講義		
9	関西・関東以外の鉄道会社について、グループ毎に発表する		課題	9	タブレット端末を用いて、自分が担当した企業の発表をする	講義		
10	関西鉄道会社について、グループに分かれて調べる		課題	9	タブレット端末を用いて、企業の長所・短所を調べる	講義		
11	関西鉄道会社について、グループ毎に発表する		課題	9	タブレット端末を用いて、自分が担当した企業の発表をする	講義		
12	3セク鉄道会社について、グループに分かれて調べる		課題	10	タブレット端末を用いて、企業の長所・短所を調べる	講義		
13	3セク鉄道会社について、グループ毎に発表する		課題	9	タブレット端末を用いて、自分が担当した企業の発表をする	講義		
14	3セク鉄道会社について、グループ毎に発表する				タブレット端末を用いて、自分が担当した企業の発表をする	講義		
15	総まとめ				総まとめ	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			鉄道企業Ⅱ			講師名	高田		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
鉄道業界の特徴を知る 会社の雰囲気を知る					卒業生に講演をしてもらい、それをノートにまとめる 質問をして自分の疑問点おなくす				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション					オリエンテーション			
2	卒業生講演			課題	9	□鉄道の現場について知り、理解する			講義
3	卒業生講演			課題	9	□鉄道の現場について知り、理解する			講義
4	卒業生講演			課題	9	□鉄道の現場について知り、理解する			講義
5	卒業生講演			課題	9	□鉄道の現場について知り、理解する			講義
6	卒業生講演			課題	9	□鉄道の現場について知り、理解する			講義
7	卒業生講演			課題	9	□鉄道の現場について知り、理解する			講義
8	卒業生講演			課題	9	□鉄道の現場について知り、理解する			講義
9	卒業生講演			課題	9	□鉄道の現場について知り、理解する			講義
10	卒業生講演			課題	9	□鉄道の現場について知り、理解する			講義
11	卒業生講演			課題	9	□鉄道の現場について知り、理解する			講義
12	卒業生講演			課題	10	□鉄道の現場について知り、理解する			講義
13	卒業生講演					□鉄道の現場について知り、理解する			講義
14	卒業生講演					□鉄道の現場について知り、理解する			講義
15	総まとめ					総まとめ			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			文書表現			講師名	岩村	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道業界の就職において必須となるエントリーシートの記入方法を学ぶ</li> <li>・頻出のテーマに対して、質問の意図を考え、自分だけのESを完成させる</li> <li>・心に残る文章を作成する</li> </ul>					筆記テスト（熟語）の実施とエントリーシートの記入、添削、完成という流れで進ませます。			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション			オリエンテーション	講義			
2	自己PRについて①	筆記	20	□ESに提出する文章を完成させる	講義			
3	自己PRについて②			□ESに提出する文章を完成させる	講義			
4	自己PRを完成させる	課題	20	□ESに提出する文章を完成させる	講義			
5	学生時代に一番力をいれたことについて①			□ESに提出する文章を完成させる	講義			
6	学生時代に一番力をいれたことについて②			□ESに提出する文章を完成させる	講義			
7	学生時代に一番力をいれたことを完成させる	課題	20	□ESに提出する文章を完成させる	講義			
8	志望動機について①			□ESに提出する文章を完成させる	講義			
9	志望動機について②			□ESに提出する文章を完成させる	講義			
10	志望動機を完成させる	課題	20	□ESに提出する文章を完成させる	講義			
11	10年後の私について①			□ESに提出する文章を完成させる	講義			
12	10年後の私について②	課題	20	□ESに提出する文章を完成させる	講義			
13	10年後の私について③			□ESに提出する文章を完成させる	講義			
14	10年後の私を完成させる			□ESに提出する文章を完成させる	講義			
15	総まとめ			総まとめ	講義			
追試詳細					達成度評価	使用教材		
					<b>A 80点以上</b> <b>B 70点以上</b> <b>C 60点以上</b> <b>D 59点以下</b>			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			面接演習			講師名	高田	
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
鉄道業界就職においては最も重要である面接を学ぶ どのような言葉が重要か、どのような振る舞いが必要かを学ぶ					グループ面接、個人面接、グループディスカッションなどを行う			
実施回数	学習項目	授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標		授業形式		
1	オリエンテーション			オリエンテーション				
2	面接練習			□面接での注意点を学び、発言することができる		講義		
3	面接練習			□面接での注意点を学び、発言することができる		講義		
4	面接練習	実技	30	□面接での注意点を学び、発言することができる		講義		
5	面接練習			□面接での注意点を学び、発言することができる		講義		
6	面接練習			□面接での注意点を学び、発言することができる		講義		
7	面接練習	実技	30	□面接での注意点を学び、発言することができる		講義		
8	面接練習			□面接での注意点を学び、発言することができる		講義		
9	面接練習	実技	30	□面接での注意点を学び、発言することができる		講義		
10	グループディスカッション練習			□グループディスカッションでの注意点を学び、発言することができる		講義		
11	グループディスカッション練習			□グループディスカッションでの注意点を学び、発言することができる		講義		
12	グループディスカッション練習	実技	10	□グループディスカッションでの注意点を学び、発言することができる		講義		
13	グループディスカッション練習			□グループディスカッションでの注意点を学び、発言することができる		講義		
14	グループディスカッション練習			□グループディスカッションでの注意点を学び、発言することができる		講義		
15	総まとめ			総まとめ		講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	選択
科目名			TOEIC Training			講師名	永	
担当講師の 実務経歴		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
各学生ごとに学びたい内容をフォルダから選び、各自レベルアップを行う。指定の単語帳を使用し、TOEICスコアアップの基礎となる単語力アップを図る。					<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学生自身のペースで学習を進め、TOEICスコアアップを目的とする寺子屋スタイルの授業。</li> <li>・Google Drive上の週ごとに設定された課題のリスニングパートの読解に取り組む。</li> <li>・語彙力強化のため、週ごとに指定の単語帳から単語テストを実施し英単語の定着を図る。</li> <li>・各自イヤフォンとポットフォリオを毎週持参すること。</li> </ul>			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション（英語学習について） ポットフォリオ・Google Drive使用方法説明 Week1教材（Part1.2.3.4）					シラバス説明 学習方法の理解、語彙力向上		
2	単語テスト TOEICの解き方の極意 Week2教材（Part1.2.3.4）			筆記	10	TOEICの解き方のコツを学ぶ シャドーイングの効果について理解し実践する 語彙力向上、リスニング力向上		
3	単語テスト TOEICの解き方の極意 Week3教材（Part1.2.3.4）			筆記	10	TOEICの解き方のコツを学ぶ 語彙力向上、リスニング力向上		
4	単語テスト Week4教材（Part1.2.3.4）			筆記	10	語彙力向上、リスニング力向上		
5	単語テスト Week5教材（Part1.2.3.4）			筆記	10	語彙力向上、リスニング力向上		
6	授業内テスト Week6教材（Part1.2.3.4）			筆記	10	語彙力向上、リスニング力向上		
7	単語テスト Week7教材（Part1.2.3.4）			筆記	20	語彙力向上、リスニング力向上		
8	単語テスト Week8教材（Part1.2.3.4）			筆記	5	語彙力向上、リスニング力向上		
9	単語テスト Week9教材（Part1.2.3.4）			筆記	5	語彙力向上、リスニング力向上		
10	単語テスト（評価に含まず） Week10教材（Part1.2.3.4）					語彙力向上、リスニング力向上		
11	授業内テスト Week11教材（Part1.2.3.4）			筆記	20	語彙力向上、リスニング力向上		
12	Week12教材（Part1.2.3.4）					語彙力向上、リスニング力向上		
13	TOEIC模擬問題					TOEICの模擬問題に挑戦		#REF!
14	#REF!			#REF!	###	#REF!		#REF!
15	#REF!			#REF!	###	#REF!		#REF!
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					<b>A 80点以上</b> <b>B 70点以上</b> <b>C 60点以上</b> <b>D 59点以下</b>			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			アテンダントサービス			講師名	里口		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
アテンダントに必要とされる所作や言葉遣いを学び、接客スキルを磨く					アテンダントスキルを磨くとともに、車内で提供される食事や商品についての理解を深める				
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式				
		形式	点数						
1	オリエンテーション			授業の内容の案内	講義				
2	アテンダントの仕事とは			アテンダントの仕事を理解する	講義				
3	アテンダントの仕事とは			アテンダントの仕事を理解する	講義				
4	食事の知識			列車内で提供される料理についての知識を習得する	講義				
5	食事の知識	筆記①	20	列車内で提供される料理についての知識を習得する	講義				
6	食事の知識			列車内で提供される料理についての知識を習得する	講義				
7	地理の知識	筆記②	20	沿線の地理について理解をする	講義				
8	地理の知識			沿線の地理について理解をする	講義				
9	地理の知識	筆記③	20	沿線の地理について理解をする	講義				
10	商品の知識			商品の知識を習得する	講義				
11	商品の知識	筆記④	20	商品の知識を習得する	講義				
12	商品の知識			商品の知識を習得する	講義				
13	接客のコツ	筆記⑤	20	接客のコツを知る	講義				
14	接客のコツ			接客のコツを知る	講義				
15	まとめ			まとめ	講義				
追試詳細				達成度評価		使用教材			
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下					

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	選択
科目名			アナウンストレーニング			講師名	山本	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
鉄道の仕事において、声を出しての放送や案内は非常に重要である。 また大きな声を出して危険を知らせる必要もある正しい発声の仕方を学び、即戦力として活躍できるスキルを身につける					動きやすい服装で受講すること  大勢の前で話すことで、声を出すことに対しての苦手意識をなくす			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション				授業の内容紹介	実技		
2	発声練習				腹式呼吸ができる	実技		
3	発声練習				腹式呼吸ができる	実技		
4	発声練習				腹式呼吸ができる	実技		
5	発声練習				腹式呼吸ができる	実技		
6	発声練習		実技	30	腹式呼吸ができる	実技		
7	発声のための体力づくり				発声のための体力をつける	実技		
8	発声のための体力づくり		実技	20	発声のための体力をつける	実技		
9	発声のための体力づくり				発声のための体力をつける	実技		
10	発声のための体力づくり		実技	20	発声のための体力をつける	実技		
11	アナウンス実技				放送用語例をもとにアナウンスする	実技		
12	アナウンス実技				放送用語例をもとにアナウンスする	実技		
13	アナウンス実技				放送用語例をもとにアナウンスする	実技		
14	アナウンス実技		実技	30	放送用語例をもとにアナウンスする	実技		
15	まとめ				まとめ	実技		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			60	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			ジョブトレ			講師名			
担当講師の実務経験			○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
職業現場に赴き、現場の雰囲気を知るとともに、作業について学ぶ					職業現場で、現場の作業員の方について作業方法を学ぶ				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション					オリエンテーション			講義
2	現場へのあいさつ・現場オリエンテーション								実技
3	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
4	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
5	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
6	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
7	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
8	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
9	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
10	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
11	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
12	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
13	現場実地訓練			実技	10	現場を理解する			実技
14	現場実地訓練			実技	10	現場を理解する			実技
15	まとめ					まとめ			実技
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			2	単位数	2	区分	専門	選択	
科目名			フィジカルトレーニング			講師名	里口		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
鉄道の現場では泊まり勤務が多く、体調管理が重要になってくる。常に健康に留意するために、体育を行う。また、鉄道での仕事はチームワークが大切であるため、グループ競技を行う。					授業形態：実技 グラウンドにて体操、準備体操を行う。 その後集団競技を行う				
					実施回数	学習項目	授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標
1	オリエンテーション グループ分け				<input type="checkbox"/> 授業の目的・進め方・評価方法を知る。 <input type="checkbox"/> 種目を決定する。自身の体力を知る	実技			
2	グループ競技を行う	実技	7		<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
3	グループ競技を行う	実技	7		<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
4	グループ競技を行う	実技	7		<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
5	グループ競技を行う	実技	7		<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
6	グループ競技を行う	実技	7		<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
7	グループ競技を行う	実技	7		<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
8	グループ競技を行う	実技	7		<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
9	グループ競技を行う	実技	7		<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
10	グループ競技を行う	実技	7		<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
11	グループ競技を行う	実技	8		<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
12	グループ競技を行う	実技	9		<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
13	グループ競技を行う	実技	10		<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
14	グループ競技を行う				<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。	実技			
15	総まとめ				<input type="checkbox"/> 1週目からの向上率を計測する	実技			
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			マナープロトコール			講師名			
担当講師の実務経歴		○		実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>1. 社会人として必須のマナーやプロトコール（国際儀礼）に関わる知識と技能を学ぶとともに日本の伝統文化に基づくしきたりやマナーを理解し身につける。</p> <p>2. マナー・プロトコール検定3級合格を目指す。</p>					<p>テキスト『マナー&amp;プロトコールの基礎知識』に沿って授業を実施し、知識を習得する。過去問題に取り組み、知識を定着させ、検定合格を目指す。検定合格にむけ、家庭学習も奨励する。</p>				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式		
			形式	点数					
1	オリエンテーション				検定の説明、検定の傾向と対策		講義		
2	マナーとは何か				序章を理解し、検定対策問題を解く		講義		
3	マナーの歴史と意味				第1章を理解し、検定対策問題を解く		講義		
4	国際人としてのプロトコール				第2章を理解し、検定対策問題を解く		講義		
5	社会人に必要なマナー		筆記①	20	第3章を理解し、検定対策問題を解く		講義		
6	ビジネスシーンでのマナー①				第4章を理解し、検定対策問題を解く		講義		
7	ビジネスシーンでのマナー②		筆記②	20	第4章を理解し、検定対策問題を解く		講義		
8	食事のマナー①				第5章を理解し、検定対策問題を解く		講義		
9	食事のマナー②		筆記③	20	第5章を理解し、検定対策問題を解く		講義		
10	「冠」のしきたり				第7章を理解し、検定対策問題を解く		講義		
11	「婚」のしきたり		筆記④	20	第8章を理解し、検定対策問題を解く		講義		
12	「葬」のしきたり				第9章を理解し、検定対策問題を解く		講義		
13	「祭」のしきたり		筆記⑤	20	第10章を理解し、検定対策問題を解く		講義		
14	検定直前対策				検定前の再復習		講義		
15	日常のマナー				検定外のマナーについて習得する		講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		マナー&プロトコールの基礎知識		

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			運転士実務			講師名	里口	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
シミュレーターを用いながら、非常の場合の措置を理解し、緊急事態での対処方法を知る					シミュレーターで、様々な状況での判断を理解するため、実習をメインに授業をすすめていく			
実施回数	学習項目			授業内テスト形式	点数	各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション					オリエンテーション		
2	運転士業務について					□運転取扱心得を理解する		講義
3	乗務点呼について			筆記	10	□運転取扱心得を理解する		講義
4	確認喚呼について			筆記	10	□運転取扱心得を理解する		講義
5	シミュレーター研修			筆記	10	□運転取扱心得を理解する		講義
6	シミュレーター研修			筆記	10	□運転取扱心得を理解する		講義
7	シミュレーター研修			筆記	10	□運転取扱心得を理解する		講義
8	シミュレーター研修			筆記	10	□運転取扱心得を理解する		講義
9	出庫点検			筆記	10	□運転取扱心得を理解する		講義
10	出庫点検			筆記	10	□運転取扱心得を理解する		講義
11	非常措置			筆記	10	□運転取扱心得を理解する		講義
12	非常措置			筆記	10	□運転取扱心得を理解する		講義
13	非常措置					□運転取扱心得を理解する		講義
14	非常措置					□運転取扱心得を理解する		講義
15	総まとめ					総まとめ		講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			営業規則			講師名	里口		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
国内の鉄道各鉄道会社には、旅客営業規則があり、各会社により内容は異なるが、JRの営業規則を学習することにより、鉄道会社の営業ルールの基本を理解する					教材を用いて、営業規則を理解する。 小テストにより復習しながら学んでいく				
実施回数	学習項目	授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標	授業形式				
1	オリエンテーション			オリエンテーション					
2	旅客営業規則とは			<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
3	旅客営業の基本的な取り扱い	筆記	10	<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
4	乗車券類の発売及び運賃・料金	筆記	10	<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
5	乗車券類の効力	筆記	10	<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
6	乗車券類の様式	筆記	10	<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
7	乗車券類の改札	筆記	10	<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
8	乗車変更の取り扱い	筆記	10	<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
9	運賃・料金の払いもどし	筆記	10	<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
10	特殊取扱い	筆記	10	<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
11	運行不能及び遅延	筆記	10	<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
12	その他	筆記	10	<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
13	ICカードについて			<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
14	ICカードについて			<input type="checkbox"/> 旅客営業規則を理解する	講義				
15	総まとめ			総まとめ	講義				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			観光列車			講師名	高田	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
現在、多くの鉄道会社で運行している観光列車について学び、観光列車運行の狙い、集客方法などを学ぶ					各自ネットを調べながら観光列車について調べる。 各自で観光列車を企画し、提案発表をする			
実施回数	学習項目	授業内テスト形式	点数	各回の到達目標	授業形式			
1	オリエンテーション			オリエンテーション				
2	観光列車について			<input type="checkbox"/> 観光列車について調べることができる	講義			
3	観光列車について			<input type="checkbox"/> 観光列車について調べることができる	講義			
4	観光列車について	実技	30	<input type="checkbox"/> 観光列車について調べることができる	講義			
5	観光列車について			<input type="checkbox"/> 観光列車について調べることができる	講義			
6	観光列車を企画			<input type="checkbox"/> パワーポイントで自ら観光列車を企画	講義			
7	観光列車を企画	実技	30	<input type="checkbox"/> パワーポイントで自ら観光列車を企画	講義			
8	観光列車を企画			<input type="checkbox"/> パワーポイントで自ら観光列車を企画	講義			
9	観光列車を企画	実技	30	<input type="checkbox"/> パワーポイントで自ら観光列車を企画	講義			
10	企画の発表			<input type="checkbox"/> 自ら企画した観光列車を発表する	講義			
11	企画の発表			<input type="checkbox"/> 自ら企画した観光列車を発表する	講義			
12	企画の発表	実技	10	<input type="checkbox"/> 自ら企画した観光列車を発表する	講義			
13	発表振り返り			発表の反省	講義			
14	今後の計画			<input type="checkbox"/> 今後の計画を行う	講義			
15	総まとめ			総まとめ	講義			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			危険物取扱管理			講師名	里口	
担当講師の実務経歴		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
さまざまな現場で必要となってくる危険物取扱に関する知識を習得する					配布資料を用いながら知識を習得していく			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション					オリエンテーション		
2	危険物管理に関する法令					危険物管理に関する法令を理解する		講義
3	危険物管理に関する法令			筆記	10	危険物管理に関する法令を理解する		講義
4	危険物管理に関する法令			筆記	10	危険物管理に関する法令を理解する		講義
5	危険物管理に関する法令			筆記	10	危険物管理に関する法令を理解する		講義
6	危険物管理に関する法令			筆記	10	危険物管理に関する法令を理解する		講義
7	物理学及び化学			筆記	10	物理及び化学を理解する		講義
8	物理学及び化学			筆記	10	物理及び化学を理解する		講義
9	物理学及び化学			筆記	10	物理及び化学を理解する		講義
10	物理学及び化学			筆記	10	物理及び化学を理解する		講義
11	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法			筆記	10	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法を理解する		講義
12	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法			筆記	10	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法を理解する		講義
13	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法					危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法を理解する		講義
14	まとめ					まとめ		講義
15	総まとめ					総まとめ		講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道サービス科	年次	2	クラス	○
時間数			2	単位数	2	区分	専門 必修
科目名			技術基礎			講師名	里口
担当講師の実務経験		○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方			
安全作業のための心構えや準備、工具の取り扱い方を学びます				配布資料を用いながら、安全作業について必要となる知識を学ぶ。 工具に手を触れながら使い方を理解する  作業に必要な体力を養う			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
		形式	点数				
1	オリエンテーション			オリエンテーション			
2	安全作業の心構え			□列車の構造を学び、安全作業の心構えをつける	講義		
3	安全作業の心構え			□列車の構造を学び、安全作業の心構えをつける	講義		
4	安全作業の心構え	筆記	20	□列車の構造を学び、安全作業の心構えをつける	講義		
5	工具の取り扱い			□整備作業に必要な工具の名称と役割を学ぶ	講義		
6	工具の取り扱い			□整備作業に必要な工具の名称と役割を学ぶ	講義		
7	工具の取り扱い			□整備作業に必要な工具の名称と役割を学ぶ	講義		
8	工具の取り扱い	筆記	20	□整備作業に必要な工具の名称と役割を学ぶ	実技		
9	作業に向けての体力づくり	実技	15	□整備作業に必要な体力づくりとコミュニケーション能力を養う	実技		
10	作業に向けての体力づくり	実技	15	□整備作業に必要な体力づくりとコミュニケーション能力を養う	実技		
11	作業に向けての体力づくり	実技	15	□整備作業に必要な体力づくりとコミュニケーション能力を養う	実技		
12	作業に向けての体力づくり	実技	15	□整備作業に必要な体力づくりとコミュニケーション能力を養う	実技		
13	安全作業まとめ			まとめ	講義		
14	工具まとめ			まとめ	講義		
15	総まとめ			総まとめ	講義		
追試詳細				達成度評価		使用教材	
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			接客手話			講師名	山浦直美		
担当講師の実務経歴		○	実務経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>聴覚障害者への理解を深め、基本コミュニケーションに必要な手話その他の手段を見につける。手話を通じて豊かな表現力を習得し、ホスピタリティの実践につなげる。全国手話検定5級を取得可能。</p>					<p>手話の実技学習、表現練習と並行して、きこえない方への対応に関するミニ講義も組み入れる。 手話検定5級対策として、手話の読取りと手話による1分間スピーチ及び面接練習を行う。</p>				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
			形式	点数					
1	1. 授業オリエンテーション あいさつ・名前				「なぜ手話を学んで欲しいのか」「手話言語の特徴」を理解する。				
2	2. あいさつ、名前の自己紹介 (第3講座)				あいさつ及び自分・講師等の氏名を手話で表現できる。				
3	3. 伝え合ってみましょう (第1, 2講座)				イメージトレーニング。言葉に頼らず伝える方法を体得する。				
4	4. 聴覚障害、手話に関する理解 コミュニケーションの方法		課題	10	聞こえなくて困ること、コミュニケーションの方法について考える。				
5	5. 家族の紹介(第4講座)				人を表す手話、家族紹介の手話表現を習得する。				
6	6. 数字を使用した表現(第5講座)				数字を使って誕生日・時間・金額等が表現できる。指文字を使用して固有名詞が表現できる。				
7	7. 趣味、好きなことについて会話 (第6講座)				自分の趣味や特技、好きなことなどを手話で表現できる。				
8	8. 仕事についての会話(第7講座) ・手話読み取り確認テスト		筆記	30	将来の仕事・夢を表現できる。あいさつ・単語・指文字を見て理解できる。				
9	9. 住所、都道府県など (第8講座)				自分の出身地・住所及び通学方法等を表現できる。				
10	10. 手話読み取りテスト2及び都道府県の手話		筆記	30	手話会話表現を読取り、理解できるかを確認する。都道府県の手話表現を覚える。				
11	11. 自己紹介(第9講座)		実技	30	自己紹介1分間スピーチと質疑応答ができる。				
12	12. 手話検定5級対策				5級の読み取り過去問題で70%以上正解できる。				
13	13. 手話検定5級対策				5級の読み取り過去問題で70%以上正解できる。				
14	検定対策まとめ				手話検定5級の過去問題で苦手部分をなくす	講義			
15	総まとめ				総まとめ	講義			
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			鉄道企業Ⅱ			講師名	高田		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
1年生後期に続いて、鉄道業界の特徴や各企業の雰囲気を知り、自身の就職活動に活かす					卒業生に講演をしてもらい、それをノートにまとめる 質問をして自分の疑問点をなくす				
実施回数	学習項目	授業内テスト形式	点数	各回の到達目標	授業形式				
1	オリエンテーション			オリエンテーション					
2	国内の鉄道会社について			□鉄道会社について調査して発表する	講義				
3	卒業生講演			□鉄道会社の現状を理解する	講義				
4	卒業生講演	実技	30	□鉄道会社の現状を理解する	講義				
5	卒業生講演			□鉄道会社の現状を理解する	講義				
6	卒業生講演			□鉄道会社の現状を理解する	講義				
7	卒業生講演	実技	30	□鉄道会社の現状を理解する	講義				
8	卒業生講演			□鉄道会社の現状を理解する	講義				
9	卒業生講演	実技	30	□鉄道会社の現状を理解する	講義				
10	卒業生講演			□鉄道会社の現状を理解する	講義				
11	卒業生講演			□鉄道会社の現状を理解する	講義				
12	卒業生講演	実技	10	□鉄道会社の現状を理解する	講義				
13	卒業生講演			□鉄道会社の現状を理解する	講義				
14	まとめ			まとめ	講義				
15	総まとめ			総まとめ	講義				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			鉄道企業 I			講師名	里口		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
国内約200社の鉄道会社について調べ、それぞれの鉄道会社の状況を把握する					各自ネット等で調べながら、鉄道会社の特徴を調べ発表する				
実施回数	学習項目	授業内テスト形式	点数	各回の到達目標	授業形式				
1	オリエンテーション			オリエンテーション					
2	国内の鉄道会社について			□鉄道会社について調査して発表する	講義				
3	国内の鉄道会社について			□鉄道会社について調査して発表する	講義				
4	国内の鉄道会社について発表	実技	30	□鉄道会社について調査して発表する	講義				
5	国内の鉄道会社について			□鉄道会社について調査して発表する	講義				
6	国内の鉄道会社について			□鉄道会社について調査して発表する	講義				
7	国内の鉄道会社について発表	実技	30	□鉄道会社について調査して発表する	講義				
8	国内の鉄道会社について			□鉄道会社について調査して発表する	講義				
9	国内の鉄道会社について発表	実技	30	□鉄道会社について調査して発表する	講義				
10	国内の鉄道会社について			□鉄道会社について調査して発表する	講義				
11	国内の鉄道会社について			□鉄道会社について調査して発表する	講義				
12	国内の鉄道会社について発表	実技	10	□鉄道会社について調査して発表する	講義				
13	発表振り返り			□発表の振り返りをする	講義				
14	振り返りの発表			□振り返りの発表をする	講義				
15	総まとめ			総まとめ	講義				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			鉄道電気			講師名	里口		
担当講師の 実務経歴		○	実務 経歴						
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
電車における電気の仕組みをしり、どのような制御により電車が動くのかを理解する					電気についての基礎知識を習得し、配布資料を用いながら鉄道電気について理解する				
実施 回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業 形式	
			形式	点数					
1	オリエンテーション				オリエンテーション				
2	各機器の呼称				□鉄道業界における電気を理解する			講義	
3	電気のしくみ		筆記	10	□鉄道業界における電気を理解する			講義	
4	電気のしくみ		筆記	10	□鉄道業界における電気を理解する			講義	
5	電気のしくみ		筆記	10	□鉄道業界における電気を理解する			講義	
6	モーターについて		筆記	10	□鉄道業界における電気を理解する			講義	
7	モーターについて		筆記	10	□鉄道業界における電気を理解する			講義	
8	モーターについて		筆記	10	□鉄道業界における電気を理解する			講義	
9	各機器について		筆記	10	□鉄道業界における電気を理解する			講義	
10	各機器の操作方法		筆記	10	□鉄道業界における電気を理解する			講義	
11	各機器の操作方法		筆記	10	□鉄道業界における電気を理解する			講義	
12	各機器の操作方法		筆記	10	□鉄道業界における電気を理解する			講義	
13	各機器の操作方法				□鉄道業界における電気を理解する			講義	
14	各機器の操作方法				□鉄道業界における電気を理解する			講義	
15	総まとめ				総まとめ			講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			鉄道電気			講師名	鉄道電気		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
鉄道の現場で必要となってくる電気の知識を習得するために電気工事士の資格取得を目指す					資料を用いながら、電気工事士の試験内容を理解する				
実施回数	学習項目			授業内テスト形式	点数	各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション					オリエンテーション			
2	電気工事士とは					電気工事士について理解する			講義
3	電線の接続			筆記	10	電線の接続について理解する			講義
4	配線工事			筆記	10	配線工事について理解する			講義
5	電気機器及び配線機器の設置			筆記	10	電気機器及び配線機器の設置について理解する			講義
6	まとめ			筆記	10	中間テストの実施			講義
7	工具の使用法			筆記	10	工具の使用法を理解する			講義
8	コード及びキャプタイヤケーブルの接続			筆記	10	コード類の接続について理解する			講義
9	接地工事			筆記	10	接地工事について理解する			講義
10	まとめ			筆記	10	中間テストの実施			講義
11	電流電圧電力及び電気抵抗の測定			筆記	10	測定について理解する			講義
12	一般用電気工作物の検査			筆記	10	検査について理解する			講義
13	一般用電気工作物の故障個所の修理					修理について理解する			講義
14	電気工事士過去問題実践					電気工事士試験の過去問題に取り組む			講義
15	総まとめ					総まとめ			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			面接演習			講師名	高田		
担当講師の実務経験			○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
希望する企業への就職に向けて面接スキルを磨く					グループ面接、個人面接、グループディスカッションなどを行う				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業形式	
			形式	点数					
1	オリエンテーション				オリエンテーション			実技	
2	面接練習				□面接での注意点を学び、発言することができる			実技	
3	面接練習				□面接での注意点を学び、発言することができる			実技	
4	面接練習		実技	30	□面接での注意点を学び、発言することができる			実技	
5	面接練習				□面接での注意点を学び、発言することができる			実技	
6	面接練習				□面接での注意点を学び、発言することができる			実技	
7	面接練習		実技	30	□面接での注意点を学び、発言することができる			実技	
8	面接練習				□面接での注意点を学び、発言することができる			実技	
9	面接練習		実技	30	□面接での注意点を学び、発言することができる			実技	
10	グループディスカッション練習				□グループディスカッションでの注意点を学び、発言することができる			実技	
11	グループディスカッション練習				□グループディスカッションでの注意点を学び、発言することができる			実技	
12	グループディスカッション練習		実技	10	□グループディスカッションでの注意点を学び、発言することができる			実技	
13	グループディスカッション練習				□グループディスカッションでの注意点を学び、発言することができる			実技	
14	グループディスカッション練習				□グループディスカッションでの注意点を学び、発言することができる			実技	
15	総まとめ				総まとめ			講義	
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	屋	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			TOEIC Training			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
各学生ごとに学びたい内容をフォルダから選び各自レベルアップを行う。指定の単語帳を使用し、TOEICスコアアップの基礎となる語彙力アップを図る。					<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生自身のペースで学習を進め、TOEICスコアアップを目的とする寺子屋スタイルの授業。</li> <li>・Google Drive上の週ごとに設定された課題のリスニングパートの読解に取り組む。</li> <li>・語彙力強化の為、週ごとに増加する指定の単語帳から単語や述語を覚える（英単語テスト実施）</li> </ul>				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式		
			形式	点数					
1	オリエンテーション week12教材 (Part,2,3,4)				学習方法の理解 語彙力向上		講義		
2	week13教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化		講義		
3	week14教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化		講義		
4	week15教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化		講義		
5	week16教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化		講義		
6	week17教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化		講義		
7	week18教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化		講義		
8	week19教材 (Part,2,3,4)		筆記	10	語彙力向上 リスニング力強化		講義		
9	映画アフレコ 単語確認テスト				英語学習アプリを使用し英語でのアフレコ実施によるリスニング力、スピーキング力強化		実技		
10	映画アフレコ 単語確認テスト				英語学習アプリを使用し英語でのアフレコ実施によるリスニング力、スピーキング力強化		実技		
11	week20教材 (Part,2,3,4)				語彙力向上 リスニング力強化		講義		
12	week21教材 (Part,2,3,4)				語彙力向上 リスニング力強化		講義		
13	確認テスト		筆記	30	持ち込み：なし		講義		
14	Feedback week22教材 (Part,2,3,4)				語彙力向上 リスニング力強化		講義		
15	Wrap up				Feedback and Review		講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材		
評価 筆記試験10点×7=70点 30点×1 合計100点					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		ロイロノート		

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			クルーサービス			講師名	里口		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
クルーサービスについての理解を深め、求められ と・必要とされていることを学ぶ。 終盤には英語を使用したクルーサービスについても学 ぶ。					乗務員として乗客と接する際に必要とされる立ち居振る 舞いや言葉遣い等を学び、卒業後に活かせるよう知識の 習得をめざす				
実施 回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標			授業 形式
				形式	点数				
1	オリエンテーション					オリエンテーション			講義
2	クルーサービスのある列車について			課題 提出	10	クルーサービスのある列車について調べ、理解す る			講義
3	クルーサービスのある列車について					クルーサービスのある列車について調べ、理解す る			講義
4	クルーサービスのある列車について					クルーサービスのある列車について調べ、理解す る			講義
5	クルーサービスの接客について			筆記 試験	10	クルーサービスのある列車で求められる接客を習 得する			講義
6	クルーサービスの接客について					クルーサービスのある列車で求められる接客を習 得する			講義
7	クルーサービスの接客について			課題 提出	15	クルーサービスのある列車で求められる接客を習 得する			講義
8	クルーサービスで用いる英語			実技 試験	25	クルーサービスで用いられる英語を習得する			講義
9	クルーサービスで用いる英語					クルーサービスで用いられる英語を習得する			講義
10	クルーサービスで用いる英語					クルーサービスで用いられる英語を習得する			講義
11	クルーサービスで用いる英語			筆記 試験	10	クルーサービスで用いられる英語を習得する			講義
12	クルーサービスで用いる英語			実技 試験	30	クルーサービスで用いられる英語を習得する			講義
13	クルーサービスで用いる英語					クルーサービスで用いられる英語を習得する			講義
14	クルーサービスで用いる英語					クルーサービスで用いられる英語を習得する			講義
15	総まとめ					総まとめ			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			コミュニケーショントレーニング			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
シアタートレーニングや演劇を学ぶことで「表現力」を手に入れ、自分の言葉や表現を発信できるようにする。また発表会を行うことで、人に見られること、大きな声を出すこと、他者をコミュニケーションをとり協調性を養う。					シアタートレーニングや演劇作品づくりを中心に進める。学期末に発表会をおこなう。スーツやスカート、ヒールなど動きが制限される服装での出席は認められません。必ず動きやすい服装で参加すること。				
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
			形式	点数					
1	自己紹介・授業内容理解				なぜ鉄道サービスに必要な授業なのかを理解する	実技			
2	シアタートレーニング①				トレーニングを通じて自己を知る	実技			
3	シアタートレーニング②		実技	5	トレーニングを通じてクラスメイトを知る	実技			
4	シアタートレーニング③		実技	5	コミュニケーションを楽しむ	実技			
5	台本を読む		実技	5	発表会と台本の内容を理解する	実技			
6	発表会に向けての練習①		実技	5	自己の役割を考え発表会に向けての練習を行う	実技			
7	発表会に向けての練習②		実技	5	自己の役割を考え発表会に向けての練習を行う	実技			
8	発表会に向けての練習③		実技	5	自己の役割を考え発表会に向けての練習を行う	実技			
9	発表会に向けての練習④		実技	5	台詞や動きを覚えて演じる	実技			
10	発表会に向けての練習⑤		実技	5	台詞や動きを覚えて演じる	実技			
11	発表会に向けての練習⑥		実技	20	よりよくするにはどうすればいいかを考え、実行する	実技			
12	最終リハーサル		実技	20	本番通りに行く	実技			
13	発表会本番		実技	20	発表会本番	実技			
14	振り返り				発表会の振り返り	実技			
15	2年間を振り返っての復習				今後の目標を設定する	実技			
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			60	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			ジョブトレ			講師名			
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
職業現場に赴き、現場の雰囲気を知るとともに、作業について学ぶ					職業現場で、現場の作業員の方について作業方法を学ぶ				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション					オリエンテーション			講義
2	現場へのあいさつ・現場オリエンテーション								実技
3	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
4	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
5	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
6	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
7	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
8	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
9	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
10	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
11	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
12	現場実地訓練			実技	8	現場を理解する			実技
13	現場実地訓練			実技	10	現場を理解する			実技
14	現場実地訓練			実技	10	現場を理解する			実技
15	まとめ					まとめ			実技
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			セルフスタイリング			講師名	阿比子	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホスピタリティの気持ちを持つ</li> <li>・自分の意見を伝わりやすく話す</li> <li>・自己管理を心掛け、自立する</li> <li>・社会生活の常識を知る</li> <li>・ライフプランを立て、社会人生活を楽しむ</li> </ul>					一般常識や社会の基本的な仕組みなど、新卒社会人に必要な知識を座学で学びます。			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション					授業の進め方 評価方法を理解する		講義
2	給与明細の見方					給与明細に何が書かれているのか		講義
3	税金について			筆記	5	税金の仕組みを学ぶ		講義
4	公的保険について			筆記	5	社会保険のしくみを知る		講義
5	資産形成について			筆記	5	計画的貯蓄/価値観と使えるお金のバランス 投資の基礎知識・リスクを学ぶ		講義
6	仕事の基本的なマナー、労働法を学ぶ			筆記	5	コンプライアンス、基礎マナーを復習		講義
7	自己管理を学ぶ			筆記	5	食生活を見直す		講義
8	話し方の印象をアップする			筆記	5	印象の重要性を知る		講義
9	聞き方の印象をアップする			筆記	5	印象の重要性を知る		講義
10	身だしなみ印象をアップする			筆記	5	印象の重要性を知る		講義
11	セーフティネットを学ぶ					情報商材、ネットワークビジネス、貸付払いを知る。 詐欺から身を守り助けを呼ぶ方法を知る		講義
12	ライフプラン作成・完成			課題	30	将来の夢とシュミレーション		講義
13	セルフコントロール					印象の重要性を知る		講義
14	セルフコントロール			課題	30	印象の重要性を知る		講義
15	まとめ					復習		講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					<b>A 80点以上</b> <b>B 70点以上</b> <b>C 60点以上</b> <b>D 59点以下</b>			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			ビジネススキル&ライフプラン			講師名			
担当講師の実務経験		○		実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
就職後に必要となるビジネススキルを習得するとともに、社会人として知っておかなければならない知識を習得する					適宜資料を配布しながら授業を行う				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標			授業形式
1	オリエンテーション					授業の紹介			講義
2	保険について					保険について理解する			講義
3	保険について			筆記	20	保険について理解する			講義
4	株について					株の売買について理解する			講義
5	株について			筆記	20	株の売買について理解する			講義
6	その他金融商品について					その他金融商品について理解する			講義
7	その他金融商品について			筆記	20	その他金融商品について理解する			講義
8	経済学入門					経済学の基礎を知る			講義
9	経済学入門			筆記	20	経済学の基礎を知る			講義
10	経営学入門					マーケティングについて理解する			講義
11	経営学入門					マーケティングについて理解する			講義
12	財務諸表について			筆記	20	財務諸表を理解する			講義
13	財務諸表について					財務諸表を理解する			講義
14	財務諸表について					財務諸表を理解する			講義
15	まとめ					まとめ			講義
追試詳細					達成度評価			使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ビジネスマナー			講師名	里口	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
社会人として必須のビジネス実務の知識を学ぶ 1. 仕事への取り組み方 2. ビジネス社会の常識 3. 仕事の技法と知識 4. 将来のライフデザインとマネープラン					キャリアガイダンスやビジネスプレゼンテーションで学んだことを基本に、ビジネスシーンで役立つことや社会人として知っておくべき知識をワーク形式で学習する。 *B検ジョブパス2級受検希望者は学生カウンターへ			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	授業のオリエンテーション キャリアとは、働くということとは				学生と社会人の違い、働く意識、人生のマネジメント、ワークライフバランス、自己実現	講義		
2	コミュニケーション① 仕事の進め方の基本				効率の良い仕事をするには、基本の意識、目標と計画、日常と非日常	講義		
3	会社組織に関する知識① モラルと法律				契約に関する法律、コンプライアンス 個人情報	講義		
4	コミュニケーション② 会社組織に関する知識②				仕事上の人間関係、新入社員ケーススタディ ネットの知識、メールのマナー、秘密の保持	講義		
5	会社組織に関する知識③ 労務管理、給与体系		筆記試験	10	権利と義務、雇用形態、就業規則 給与の原則	講義		
6	コミュニケーション③ 企画書の作成				文書の種類・企画書のポイント	講義		
7	コミュニケーション④ 会議への参加		課題提出	15	グループワークを通じてコミュニケーションの大切さを知る。会議の知識と参加の仕方	講義		
8	コミュニケーション⑤ プレゼンテーション		実技試験	25	ロジカルシンキング 自らの考えを上手に伝える (グループでのプレゼンテーション)	講義		
9	個人に関わるお金の知識① お金との付き合い方				パーソナルファイナンスとは、お金の管理、収入と支出、ニーズとウォンツ、世界とお金	講義		
10	個人に関わるお金の知識② お金を稼ぐ(働く)、税金、保険				色々な働き方とお金、給与明細の見方、税金、社会保険・民間保険の仕組みと種類	講義		
11	個人に関わるお金の知識③ お金を貯める・増やす・借りる		筆記試験	10	利息、投資の種類、リスクとリターン、金利と返済	講義		
12	個人に関わるお金の知識④ 契約・トラブル				契約とは、キャッシュレス化、悪徳商法を知る、契約の取り消し、クーリングオフ	講義		
13	金融経済教育セミナー				金融商品、クレジットカードの活用	講義		
14	金融経済教育セミナー				金融商品、クレジットカードの活用	講義		
15	総まとめ				総まとめ	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			2	単位数	2	区分	専門	選択	
科目名			フィジカルトレーニング			講師名	里口		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
鉄道の現場では泊まり勤務が多く、体調管理が重要になってくる。常に健康に留意するために、体育を行う。また、鉄道での仕事はチームワークが大切であるため、前期に引き続きグループ競技を行う。					授業形態：実技 グラウンドにて体操、準備体操を行う。 その後集団競技を行う				
					実施回数	学習項目	授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標
1	オリエンテーション グループ分け			<input type="checkbox"/> 授業の目的・進め方・評価方法を知る。 <input type="checkbox"/> 種目を決定する。自身の体力を知る		実技			
2	グループ競技を行う	実技	7	<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
3	グループ競技を行う	実技	7	<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
4	グループ競技を行う	実技	7	<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
5	グループ競技を行う	実技	7	<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
6	グループ競技を行う	実技	7	<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
7	グループ競技を行う	実技	7	<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
8	グループ競技を行う	実技	7	<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
9	グループ競技を行う	実技	7	<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
10	グループ競技を行う	実技	7	<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
11	グループ競技を行う	実技	8	<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
12	グループ競技を行う	実技	9	<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
13	グループ競技を行う	実技	10	<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
14	グループ競技を行う			<input type="checkbox"/> 基礎体力を付けながら協調性を学ぶ。		実技			
15	体力測定			<input type="checkbox"/> 前期からの向上率を計測する		実技			
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		運転訓練				講師名	里口	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
鉄道における安全の重要性を学び、列車がどのように安全の確保がなされているかを学ぶ					授業形態：講義 プラレールを用いながら、輸送障害が発生した場合の対応を学ぶ			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション				オリエンテーション		講義	
2	鉄道事故事例研究				鉄道事故事例を研究し、原因と対策を理解する		講義	
3	鉄道事故事例研究		筆記試験	20	鉄道事故事例を研究し、原因と対策を理解する		講義	
4	鉄道事故事例研究		実技試験	15	鉄道事故事例を研究し、原因と対策を理解する		講義	
5	鉄道事故事例研究				鉄道事故事例を研究し、原因と対策を理解する		講義	
6	鉄道事故事例研究		課題提出	10	鉄道事故事例を研究し、原因と対策を理解する		講義	
7	鉄道事故事例研究				鉄道事故事例を研究し、原因と対策を理解する		講義	
8	鉄道事故事例研究		実技試験	15	鉄道事故事例を研究し、原因と対策を理解する		講義	
9	閉そくについて				閉そくについて理解する		講義	
10	閉そくについて				閉そくについて理解する		講義	
11	列車間の安全確保について		筆記試験	10	さまざまな列車間の安全の確保の方法を知る		講義	
12	列車間の安全確保について				さまざまな列車間の安全の確保の方法を知る		講義	
13	列車間の安全確保について				さまざまな列車間の安全の確保の方法を知る		講義	
14	列車間の安全確保について		筆記試験	30	さまざまな列車間の安全の確保の方法を知る		講義	
15	総まとめ				総まとめ		講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			駅務輸送			講師名	里口		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
駅での業務は、お客様の接客だけでなく運転業務がある 運転業務を理解し、鉄道における駅の役割を知る					授業形態：講義 駅業務について、各個人で研究すると共に、グループでの研究を行い、学びを深める				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション					オリエンテーション		講義	
2	駅とは					駅の定義を理解する		講義	
3	駅の仕事とは			筆記試験	20	駅業務について理解する		講義	
4	駅の仕事とは			実技試験	15	駅業務について理解する		講義	
5	駅での運転業務とは					駅での運転業務について理解する		講義	
6	駅での運転業務とは			課題提出	10	駅での運転業務について理解する		講義	
7	PRCとは					PRCを理解する		講義	
8	CTCとは			実技試験	15	CTCを理解する		講義	
9	連動装置について					連動装置について理解する		講義	
10	連動装置について					連動装置について理解する		講義	
11	信号の種類			筆記試験	10	信号の種類を理解する		講義	
12	信号の種類					信号の種類を理解する		講義	
13	信号の種類					信号の種類を理解する		講義	
14	信号の種類					信号の種類を理解する		講義	
15	総まとめ					総まとめ		講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			国際儀礼			講師名	里口		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
<p>・前期マナープロトコルの復習をしながら、プロトコール（国際儀礼、外交儀礼）とマナーの基本を学ぶとともに、日本の伝統文化に基くしきたりやマナーを理解し、身につけることを目指す。</p>					<p>マナー・プロトコール検定項目に沿って、テキストを中心に授業を進める。 追加資料、映像、動画などを通して理解を深める。</p>				
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式				
		形式	点数						
1	オリエンテーション			授業概要と進め方	講義				
2	国際人としてのプロトコール①			プロトコールの五原則を知る 席次や国旗の取り扱いを知る	講義				
3	国際人としてのプロトコール②	筆記	25	プロトコールの五原則を知る 席次や国旗の取り扱いを知る	講義				
4	マナーの歴史と意味①			西洋のマナー、エチケットの成り立ち アジアのマナーの特徴を知る	講義				
5	マナーの歴史と意味②	筆記	25	日本の礼儀、作法の成り立ちを知る	講義				
6	異文化コミュニケーションと日本の伝統文化			異なる文化や習慣を理解する 日本の伝統文化を知る	講義				
7	服装のマナー（洋装・和装）			礼装、ドレスコードを知る 和装の歴史としきたりを知る	講義				
8	贈答・手紙のマナー	筆記	25	日本の贈答文化と手紙のマナーを知る	講義				
9	和食のマナーと和室の作法			日本料理の基礎知識 食事と和室の作法を学ぶ	講義				
10	西洋料理・各国料理のマナー			西洋料理・各国料理のマナーと基礎知識	講義				
11	「冠」のしきたり	筆記	25	日本の人生通過儀礼について知る	講義				
12	「婚」のしきたり			日本の婚姻の形態としきたり	講義				
13	「葬」のしきたり			日本の葬儀のしきたりを知る	講義				
14	「祭」のしきたり			日本の年中行事とその意味を知る	講義				
15	まとめ				講義				
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					<b>A 80点以上</b> <b>B 70点以上</b> <b>C 60点以上</b> <b>D 59点以下</b>		・テキスト 『マナー&プロトコールの基礎知識』 ・配布資料		

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			指令実務			講師名	里口		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
鉄道の安全運転に必要なとなる運転指令の実務について学ぶ。運転指令と列車側のどちら側の役割を理解し、現場ですぐに無線を行えるよう即戦力としての知識を習得する					授業形態：講義				
					運転指令の業務について理解し、どのような場合無線を行うのか、どのような言葉で伝えればよいのかを学ぶ				
実施回数	学習項目			授業内テスト形式	点数	各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション					オリエンテーション		講義	
2	運転指令とは					運転指令の役割を理解する		講義	
3	運転指令とは			筆記試験	20	運転指令の役割を理解する		講義	
4	運転指令からの無線連絡			実技試験	15	運転指令からの無線内容を理解する		講義	
5	運転指令からの無線連絡					運転指令からの無線内容を理解する		講義	
6	列車から運転指令への連絡			課題提出	10	列車からの指令への無線内容を理解する		講義	
7	列車から運転指令への連絡					列車からの指令への無線内容を理解する		講義	
8	列車から運転指令への連絡			実技試験	15	列車からの指令への無線内容を理解する		講義	
9	ロールプレイング					指令と列車に分かれてロールプレイングを行い、それぞれの役割を理解する		講義	
10	ロールプレイング					指令と列車に分かれてロールプレイングを行い、それぞれの役割を理解する		講義	
11	ロールプレイング			筆記試験	10	指令と列車に分かれてロールプレイングを行い、それぞれの役割を理解する		講義	
12	ロールプレイング					指令と列車に分かれてロールプレイングを行い、それぞれの役割を理解する		講義	
13	ロールプレイング					指令と列車に分かれてロールプレイングを行い、それぞれの役割を理解する		講義	
14	ロールプレイング					指令と列車に分かれてロールプレイングを行い、それぞれの役割を理解する		講義	
15	総まとめ					総まとめ		講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			事業計画			講師名	里口		
担当講師の実務経歴		○		実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
鉄道会社の鉄軌道部門以外の収益構造を研究する。					授業形態：講義				
					各鉄道会社の鉄軌道部門以外の事業を調べ、今後鉄道会社で導入すべき新たな事業を立案し発表する				
実施回数	学習項目			授業内テスト形式	点数	各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション					オリエンテーション		講義	
2	鉄軌道部門以外の事業とは					各鉄道会社の鉄軌道部門以外の事業を調べる		講義	
3	鉄軌道部門以外の事業とは			筆記試験	20	各鉄道会社の鉄軌道部門以外の事業を調べる		講義	
4	鉄軌道部門以外の事業とは			実技試験	15	各鉄道会社の鉄軌道部門以外の事業を調べる		講義	
5	鉄軌道部門以外の事業とは					各鉄道会社の鉄軌道部門以外の事業を調べる		講義	
6	鉄軌道部門以外の事業とは			課題提出	10	各鉄道会社の鉄軌道部門以外の事業を調べる		講義	
7	鉄軌道部門以外の事業とは					各鉄道会社の鉄軌道部門以外の事業を調べる		講義	
8	鉄軌道部門以外の事業とは			実技試験	15	各鉄道会社の鉄軌道部門以外の事業を調べる		講義	
9	鉄軌道部門以外の新たな事業を立案する					鉄軌道以外の事業を立案し発表する		講義	
10	鉄軌道部門以外の新たな事業を立案する					鉄軌道以外の事業を立案し発表する		講義	
11	鉄軌道部門以外の新たな事業を立案する			筆記試験	10	鉄軌道以外の事業を立案し発表する		講義	
12	鉄軌道部門以外の新たな事業を立案する					鉄軌道以外の事業を立案し発表する		講義	
13	鉄軌道部門以外の新たな事業を立案する			発表	30	鉄軌道以外の事業を立案し発表する		講義	
14	鉄軌道部門以外の新たな事業を立案する					鉄軌道以外の事業を立案し発表する		講義	
15	総まとめ					総まとめ		講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			接客中国語			講師名	閻 勇	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
①中国語の正しい発音を身につける。 ②基本的な言葉を覚え、簡単な会話ができるようにする。 ③中国人のお客様にご案内ができるように取り込む。					①正しい発音を身につけるために繰り返し練習する。 ②新しい単語、表現を繰り返し練習する。 ③実際の現場を想定した会話を繰り返し練習する。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	発音①、基本的な挨拶①				中国語の発音の仕組みを知る。	講義		
2	発音②、基本的な挨拶②				基本的な挨拶を覚える。	講義		
3	復習、テスト、第1課 自己紹介		実技	20	前2回学習内容の到達度が把握できる。 簡単な自己紹介ができる。	講義		
4	第2課私は駅員です。				鉄道現場の言葉を身につける。	講義		
5	第3課これはあなたの切符ですか。				鉄道現場の言葉を身につける。	講義		
6	復習、テスト、第4課駅構内の案内。		実技	20	前2回学習内容の到達度が把握できる。 鉄道現場の言葉を身につける。	講義		
7	第5課一番出口はどこにありますか？				鉄道現場の言葉を身につける。	講義		
8	復習、テスト、第6課東京へ行く電車は何時出発しますか？		実技	20	鉄道現場の言葉を身につける。	講義		
9	第7課切符を買いたいです。				鉄道現場の言葉を身につける。	講義		
10	1回目テスト・第八課 切符はいくらです		実技	20	「から、まで」の用法を身につける。	講義		
11	第九課 切符をなくしました。				「完了」の用法を身につける。	講義		
12	復習・2回目テスト・テスト説明		筆記	20	復習・テストを通じて、学習内容を定着させる。	講義		
13	第十課 私は中国語が話せます。				「可能」の用法を身につける。	講義		
14	第十一課 定期券の払い戻しはできません				よく使われる文型を身につける。	講義		
15	総まとめ				総まとめ	講義		
追試詳細					達成度評価	使用教材		
#REF!					#REF!	#REF!		

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス		
時間数			90	単位数	6	区分	専門	必修
科目名			卒業制作Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			講師名	里口	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
授業で得た知識や取得した資格を活かし、グループに分かれ工作物を作成する。 作成するにあたり工程表を用いる					授業形態：実技			
					グループに分かれ工程表を作成する。 決められた予算内での作成を行う			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション					オリエンテーション		実技
2	グループ分け					グループに分かれ目標を設定する		実技
3	工程表作成			課題提出	20	工程表の作成方法を理解する		実技
4	製作					製作作業を行う		実技
5	製作					製作作業を行う		実技
6	製作			課題提出	10	製作作業を行う		実技
7	中間発表			中間報告	20	中間発表を行う		実技
8	製作			課題提出	10	製作作業を行う		実技
9	製作					製作作業を行う		実技
10	製作					製作作業を行う		実技
11	製作			課題提出	10	製作作業を行う		実技
12	製作					製作作業を行う		実技
13	発表			課題提出	30	発表会を行う		実技
14	まとめ					まとめ 復習		講義
15	総まとめ					総まとめ		講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			鉄道車両			講師名	里口		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
車両において最も重要となる制動装置と制御装置について学び、列車がどのように動くのか、止まるのかを学ぶ。動力車操縦者運転免許取得の際に必要な知識を習得する					授業形態：講義 資料を基に制御装置・制動装置について理解する。実際の車両の写真等を用いて鉄道車両の仕組みを知る				
実施回数	学習項目			授業内テスト形式	点数	各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション					オリエンテーション		講義	
2	制動装置					制動装置のしくみについて理解する		講義	
3	制動装置			筆記試験	20	制動装置のしくみについて理解する		講義	
4	制動装置			実技試験	15	制動装置のしくみについて理解する		講義	
5	制動装置					制動装置のしくみについて理解する		講義	
6	制動装置			課題提出	10	制動装置のしくみについて理解する		講義	
7	制御装置					制御装置のしくみについて理解する		講義	
8	制御装置			実技試験	15	制御装置のしくみについて理解する		講義	
9	制御装置					制御装置のしくみについて理解する		講義	
10	列車のしくみ					列車全般の仕組みを理解する		講義	
11	列車のしくみ			筆記試験	10	列車全般の仕組みを理解する		講義	
12	列車のしくみ					列車全般の仕組みを理解する		講義	
13	列車のしくみ					列車全般の仕組みを理解する		講義	
14	列車のしくみ			筆記試験	30	列車全般の仕組みを理解する		講義	
15	総まとめ					総まとめ		講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下				

# 授業計画書

学部	昼	学科 科	鉄道科	年次	2	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		鉄道設備				講師名	里口	
担当講師の実務経験		○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
鉄道には車両だけでなく様々な設備があって初めて列車の走行ができる。設備について理解し、どのような安全対策がなされているかを理解する。					授業形態：講義			
					さまざまな鉄道施設について学ぶ。写真・動画などでどのような構造になっているかを学ぶ			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション				オリエンテーション		講義	
2	線路について				線路の種類について理解する		講義	
3	線路について		筆記試験	20	線路の種類について理解する		講義	
4	踏切道について		実技試験	15	踏切道について理解する		講義	
5	踏切道について				踏切道について理解する		講義	
6	架線について		課題提出	10	架線の名称と役割について理解する		講義	
7	架線について				架線の名称と役割について理解する		講義	
8	橋りょうについて		実技試験	15	橋りょうについて理解する		講義	
9	トンネル・地下について				トンネル・地下道について理解する		講義	
10	駅について				駅について理解する		講義	
11	駅について		筆記試験	10	駅について理解する		講義	
12	その他構造物について				構造物について理解する		講義	
13	その他構造物について				構造物について理解する		講義	
14	その他構造物について		筆記試験	30	構造物について理解する		講義	
15	総まとめ				総まとめ		講義	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			